

# しまねの ものづくり 補助事業 成果事例集

しまねのものづくり補助事業  
成果事例集

〈平成25年度補正〉 中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業  
〈平成26年度補正〉 ものづくり・商業・サービス革新補助金  
〈平成27年度補正〉 ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金  
〈平成28年度補正〉 革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金  
〈平成29年度補正〉 ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金  
〈平成30年度補正〉 ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金

島根県中小企業団体中央会



# INDEX

- はじめに…………… 1
- 25年度事業内容…………… 2
- 26年度事業内容…………… 3
- 27年度事業内容…………… 4
- 28年度事業内容…………… 5
- 29年度事業内容…………… 6
- 30年度事業内容…………… 7
- 25～30年度事例編…………… 9
- 竹下木材有限会社…………… 10
- 株式会社サンエーセイミツ…………… 12
- 馬淵工業有限会社…………… 14
- 日本海酒造株式会社…………… 16
- 有限会社藤屋…………… 18
- 有限会社布野製菓…………… 20
- 有限会社アーク工業所…………… 22
- 株式会社A-テクニカル…………… 24
- クライムファクトリー株式会社…………… 26
- 株式会社秦鉄工所…………… 28
- 有限会社日高林産…………… 30
- 株式会社Tint NOKKO…………… 32
- 有限会社石東林業商会…………… 34
- シュプスタンス合同会社…………… 36
- 有限会社竹内畳店…………… 38
- ヨシワ工業株式会社…………… 40
- 有限会社岡富商店…………… 42
- 有限会社ディプロ…………… 44
- 25年度 採択実施事業者 一覧…………… 46
- 26年度 採択実施事業者 一覧…………… 48
- 27年度 採択実施事業者 一覧…………… 50
- 28年度 採択実施事業者 一覧…………… 52
- 29年度 採択実施事業者 一覧…………… 53
- 30年度 採択実施事業者 一覧…………… 55

## はじめに

「ものづくり補助金」は、小企業・小規模事業者が取り組む、経営力向上に資する革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための設備投資等を支援するもので、平成25年3月に、平成24年度補正予算事業として国により事業化されました。以来、8年度目を迎える令和元年度補正予算に至るまで継続的に予算化されております。

本県では、平成24年度補正事業で44社、平成25年度補正事業で66社、平成26年度補正事業で64社、平成27年度補正事業で36社、平成28年度補正事業で28社、平成29年度補正事業で62社、平成30年度補正事業で50社、合わせて350社、また、引き続き実施された令和元年度補正事業では、**40**社が採択されています。

この度、採択を受け補助事業に取り組んだ事業者の取り組み内容やその成果を、内外に発表する事を目的として、平成25年度補正事業～平成30年度補正事業の中から18の事業者を選定し、事例集として取りまとめました。

本書が技術導入や革新的サービスの開発に取り組む中小企業・小規模事業者の皆様のご参考となれば幸いです。

最後になりますが、本書作成にあたりご協力いただきました皆様に深く感謝を申し上げます。

令和3年2月吉日

島根県地域事務局  
島根県中小企業団体中央会  
会長 杉谷 雅祥

# H25

## 平成25年度補正

中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業 事業の概要

### ◆事業の目的

革新的なものづくり・サービスの提供等にチャレンジする中小企業・小規模事業者に対し、地方産業競争力協議会とも連携しつつ、試作品開発・設備投資等を支援します。

### ◆補助対象者

本補助金の補助対象者は、日本国内に本社及び開発拠点を現に有する中小企業者に限る。本事業における中小企業とは、「ものづくり技術」で申請する者は「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」第2条第1項、「革新的サービス」で申請する者は「中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律」第2条第1項に規定する者をいいます。

### ◆補助対象事業

本事業では、「ものづくり技術」、「革新的サービス」の2タイプがあります。それぞれについて「1. 成長分野型」、「2. 一般型」、「3. 小規模事業者型」があります。

	ものづくり技術	革新的サービス
<b>1. 成長分野型</b> (設備投資が必要)	「成長分野」とは、「環境・エネルギー」「健康・医療」「航空・宇宙」とする。【参考：日本再興戦略(平成25年6月14日)P54】 本類型に申請可能な者は、専ら、上記の3分野のいずれかに関する試作品・生産プロセスの改善・新サービス開発に取り組む者とします。	
<b>2. 一般型</b> (設備投資が必要)	補助対象要件を満たす案件は、すべて申請可能である。 成長分野型に属する案件、または小規模事業者型であっても、一般型に応募することができる。ただし、「成長分野型」「一般型」「小規模事業者型」への複数の申請はできません。	
<b>3. 小規模事業者型</b> (設備投資は不可)	申請可能な者は、「中小企業基本法」第2条第5項(昭和38年7月20日法律第156号)の「小規模企業者」に限ります。	

### ◆対象要件

認定支援機関に事業計画の実効性等が確認された中小企業・小規模事業者であり、以下の要件のいずれかを満たす者

- (1)「中小ものづくり高度化法」に基づく特定ものづくり基盤技術を活用していること
- (2)革新的なサービスの提供等を行い、3~5年計画で「付加価値額」年3%及び「経常利益」年率1%の向上を達成する計画であること

### ◆補助率等

対象経費の区分	補助率	補助上限額	補助下限額
原材料費、機械装置費、直接人件費、技術導入費、外注加工費、委託費、知的財産権等関連経費、運搬費、専門家謝金、専門家旅費、雑役務費	補助対象経費の3分の2以内	「成長分野型」1,500万円 「一般型」1,000万円 「小規模事業者型」700万円	100万円

# H26

## 平成26年度補正

ものづくり・商業・サービス革新補助金 事業の概要

### ◆事業の目的

国内外のニーズに対応したサービスやものづくりの新事業を創出するため、認定支援機関やよろず支援拠点等と連携して、革新的な設備投資やサービス・試作品の開発を行う中小企業を支援します。

### ◆補助対象者

本補助金の補助対象者は、日本国内に本社及び開発拠点を有する中小企業者に限ります。本事業における中小企業者とは、【ものづくり技術】で申請される方は「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」第2条第1項に規定する者をいいます。

また、【革新的サービス、共同設備投資】で申請される方は「中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律」第2条第1項に規定する者をいいます。

### ◆補助対象事業

本事業では、【革新的サービス】、【ものづくり技術】、【共同設備投資】の3つのタイプがあります。その中で、【革新的サービス】については「1. 一般型」、「2. コンパクト型」があります。

	一般型	コンパクト型
<b>革新的サービス</b>	・補助上限額：1,000万円 ・補助率：2/3 ・設備投資が必要	・補助上限額：700万円 ・補助率：2/3 ・設備投資不可
<b>ものづくり技術</b>	・補助上限額：1,000万円 ・補助率：2/3 ・設備投資が必要	
<b>共同設備投資</b>	・補助上限額：共同体で5,000万円(500万円/社) ・補助率：2/3 ・設備投資が必要	

### ◆対象経費

機械装置費、原材料費、直接人件費、技術導入費、外注加工費、委託費、知的財産権等関連経費、運搬費、専門家経費、雑役務費、クラウド利用費

### ◆対象要件

認定支援機関の全面バックアップを得た事業を行う中小企業・中小企業による共同体で、以下の要件のいずれかを満たすこと。

- 革新的なサービスの創出  
「中小サービス事業者の生産性向上のためのガイドライン」で示された方法で行う革新的なサービスの創出等であり、3~5年計画で、「付加価値額」年率3%及び「経常利益」年率1%の向上を達成できる計画であること。
- ものづくりの革新  
「中小ものづくり高度化法」に基づく特定ものづくり基盤技術を活用した画期的な試作品の開発や生産プロセスの革新であること。
- 共同した設備投資等による事業革新  
複数の企業が共同し、ITやロボット等の設備投資により、革新的な試作品開発等やプロセスの改善に取り組むことで、共同事業者全体の3~5年計画で「付加価値額」年率3%及び「経常利益」年率1%の向上を達成できる計画であること。

# H27

## 平成27年度補正

### ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金 事業の概要

#### ◆事業の目的

国内外のニーズに対応したサービスやものづくりの新事業を創出するため、認定支援機関と連携して、革新的なサービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行う中小企業・小規模事業者の設備投資等を支援します。

#### ◆補助対象者

本補助金の補助対象者は、日本国内に本社及び開発拠点を有する中小企業者に限ります。

本事業における中小企業者とは、【ものづくり技術】で申請される方は「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」第2条第1項、【革新的サービス】で申請される方は「中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律」第2条第1項に規定する者をいいます。

#### ◆補助対象事業

本事業では、【革新的サービス】、【ものづくり技術】の2つの類型があります。それぞれについて「1. 一般型」、「2. 小規模型」、「3. 高度生産性向上型」があります。

	革新的サービス	ものづくり技術
一般型	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助上限額：1,000万円</li> <li>補助率：2/3以内</li> <li>設備投資が必要</li> <li>補助対象経費：機械装置費、技術導入費、運搬費、専門家経費</li> </ul>	
小規模型	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助上限額：500万円</li> <li>補助率：2/3以内</li> <li>設備投資可能(必須ではない)</li> <li>補助対象経費：機械装置費、原材料費、技術導入費、外注加工費、委託費、知的財産権等関連経費、運搬費、専門家経費、クラウド利用費</li> </ul>	
高度生産性向上型	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助上限額：3,000万円</li> <li>補助率：2/3以内</li> <li>設備投資が必要</li> <li>補助対象経費：機械装置費、技術導入費、運搬費、専門家経費</li> </ul>	

#### ◆対象要件

認定支援機関の全面バックアップを得た事業を行う中小企業・小規模事業者であり、以下のいずれかに取り組むものであること。

##### 1. 革新的サービス・ものづくり開発支援

「中小サービス事業者の生産性向上のためのガイドライン」で示された方法で行う革新的なサービスの創出・サービス提供プロセスの改善であり、3~5年で、「付加価値額」年率3%及び「経常利益」年率1%の向上を達成できる計画であること。または「中小ものづくり高度化法」に基づく特定ものづくり基盤技術を活用した革新的な試作品開発・生産プロセスの改善を行い、生産性を向上させる計画であること。

##### 2. サービス・ものづくり高度生産性向上支援

上記1. 革新的サービス開発・試作品開発・プロセス改善であって、IoT等を用いた設備投資を行い生産性を向上させ、「投資利益率」5%を達成する計画であること。

# H28

## 平成28年度補正

### 革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金 事業の概要

#### ◆事業の目的

国際的な経済社会情勢の変化に対応し、足腰の強い経済を構築するため、経営力向上に資する革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための中小企業・小規模事業者の設備投資等の一部を支援します。

#### ◆補助対象者

本補助金の補助対象者は、日本国内に本社及び実施場所を有する中小企業者に限ります。

本事業における中小企業者とは、【ものづくり技術】で申請される方は「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」第2条第1項、【革新的サービス】で申請される方は「中小企業等経営強化法」第2条第1項に規定する者をいいます。

#### ◆補助対象事業及び補助率等

本事業では、【革新的サービス】【ものづくり技術】の2つの対象類型があります。また、それぞれについて、「第四次産業革命型」「一般型」「小規模型(設備投資のみ、試作開発等)」の事業類型があります。補助率は、補助対象経費の3分の2以内となります。

	革新的サービス	ものづくり技術
第四次産業革命型	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助上限額：3,000万円</li> <li>補助率：2/3以内</li> <li>設備投資：必要</li> <li>補助対象経費：機械装置費、技術導入費、専門家経費、運搬費</li> </ul>	
一般型	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助上限額：1,000万円</li> <li>補助率：2/3以内</li> <li>設備投資：必要</li> <li>補助対象経費：機械装置費、技術導入費、専門家経費、運搬費</li> </ul>	
小規模型	設備投資のみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>※雇用増(維持)をし、5%以上の賃金引上げについては、補助上限を倍増</li> <li>※最低賃金引上げの影響を受ける場合については、補助上限をさらに1.5倍</li> </ul>
	試作開発等	

#### ◆対象要件

認定支援機関の全面バックアップを得た事業を行う中小企業・小規模事業者であり、下記の要件のいずれかに取り組むものであること。

「中小サービス事業者の生産性向上のためのガイドライン」で示された方法で行う革新的なサービスの創出・サービス提供プロセスの改善であり、3~5年で、「付加価値額」年率3%及び「経常利益」年率1%の向上を達成できる計画であること。または「中小ものづくり高度化法」に基づく特定ものづくり基盤技術を活用した革新的な試作品開発・生産プロセスの改善を行い、生産性を向上させる計画であること。

# H29

## 平成29年度補正

### ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金 事業の概要

#### ◆事業の目的

足腰の強い経済を構築するため、日本経済の屋台骨である中小企業・小規模事業者等が取り組む生産性向上に資する革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための設備投資等の一部を支援します。

#### ◆補助対象者

本補助金の補助対象者は、日本国内に本社及び実施場所を有する中小企業者および特定非営利活動法人(2次公募のみ)に限ります。

#### ◆補助対象事業及び補助率等

本事業では、【革新的サービス】【ものづくり技術】の2つの対象類型があります。また、それぞれについて、「企業間データ活用型」「一般型」「小規模型(設備投資のみ)」の事業類型があります。

革新的サービス		ものづくり技術			
企業間データ活用型	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助上限額：1,000万円/者</li> <li>※連携体は幹事企業を含めて10者まで。1者あたり200万円が追加され、連携体参加者数を乗じて算出した額を上限に連携体内で配分可能。</li> <li>補助率：2/3以内</li> <li>設備投資：必要</li> <li>補助対象経費：機械装置費、技術導入費、専門家経費、運搬費、クラウド利用費</li> </ul>	※生産性向上に資する専門家の活用がある場合は、補助上限額に30万円の増額が可能			
一般型	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助上限額：1,000万円</li> <li>補助率：1/2以内(※1)</li> <li>設備投資：必要</li> <li>補助対象経費：機械装置費、技術導入費、運搬費、専門家経費、クラウド利用費</li> </ul>				
小規模型	<table border="1"> <tr> <td>設備投資のみ</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>補助上限額：500万円</li> <li>補助率：1/2以内(※1、※2)</li> <li>設備投資：必要</li> <li>補助対象経費：機械装置費、技術導入費、運搬費、専門家経費、クラウド利用費</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>試作開発等(1次公募のみ)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>補助上限額：500万円</li> <li>補助率：1/2以内(※1、※2)</li> <li>設備投資：可能(必須ではない)</li> <li>補助対象経費：機械装置費、技術導入費、運搬費、専門家経費、クラウド利用費、原材料費、外注加工費、委託費、知的財産権等関連経費</li> </ul> </td> </tr> </table>		設備投資のみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助上限額：500万円</li> <li>補助率：1/2以内(※1、※2)</li> <li>設備投資：必要</li> <li>補助対象経費：機械装置費、技術導入費、運搬費、専門家経費、クラウド利用費</li> </ul>	試作開発等(1次公募のみ)
設備投資のみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助上限額：500万円</li> <li>補助率：1/2以内(※1、※2)</li> <li>設備投資：必要</li> <li>補助対象経費：機械装置費、技術導入費、運搬費、専門家経費、クラウド利用費</li> </ul>				
試作開発等(1次公募のみ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助上限額：500万円</li> <li>補助率：1/2以内(※1、※2)</li> <li>設備投資：可能(必須ではない)</li> <li>補助対象経費：機械装置費、技術導入費、運搬費、専門家経費、クラウド利用費、原材料費、外注加工費、委託費、知的財産権等関連経費</li> </ul>				

※1：一般型、小規模型ともに「先端設備等導入計画」の認定取得または「経営革新計画」の承認を受けた場合は補助率2/3以内。

※2：小規模企業者・小規模事業者、常時使用する従業員が20人以下の特定非営利活動法人の補助率：2/3以内。

#### ◆対象要件

認定支援機関の全面バックアップを得た事業を行う中小企業・小規模事業者であり、下記の要件のいずれかに取り組むものであること。

「中小サービス事業者の生産性向上のためのガイドライン」で示された方法で行う革新的なサービスの創出・サービス提供プロセスの改善であり、3～5年で、「付加価値額」年率3%及び「経常利益」年率1%の向上を達成できる計画であること。または「中小ものづくり高度化法」に基づく特定ものづくり基盤技術を活用した革新的な試作品開発・生産プロセスの改善を行い、生産性を向上させる計画であること。

# H30

## 平成30年度補正

### ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金 事業の概要

#### ◆事業の目的

足腰の強い経済を構築するため、生産性向上に資する革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための中小企業・小規模事業者等の設備投資等の一部を支援します。

#### ◆補助対象者

本補助金の補助対象者は、日本国内に本社及び実施場所を有する中小企業者および特定非営利活動法人に限ります。

#### ◆補助対象事業及び補助率等

本事業では、【革新的サービス】【ものづくり技術】の2つの対象類型があります。また、それぞれについて、「一般型」「小規模型(設備投資のみ、試作開発等)」の事業類型があります。

革新的サービス		ものづくり技術			
一般型	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助上限額：1,000万円</li> <li>補助率：1/2以内(※1、※2)</li> <li>設備投資：必要</li> <li>補助対象経費：機械装置費、技術導入費、運搬費、専門家経費、クラウド利用費</li> </ul>	※生産性向上に資する専門家の活用がある場合は、補助上限額に30万円の増額が可能(共同申請の場合は全体で30万円までの増額とする。)			
小規模型	<table border="1"> <tr> <td>設備投資のみ</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>補助上限額：500万円</li> <li>補助率：1/2以内(※1、※2、※3)</li> <li>設備投資：必要</li> <li>補助対象経費：機械装置費、技術導入費、運搬費、専門家経費、クラウド利用費</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>試作開発等(1次公募のみ)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>補助上限額：500万円</li> <li>補助率：1/2以内(※1、※2、※3)</li> <li>設備投資：可能(必須ではない)</li> <li>補助対象経費：機械装置費、技術導入費、運搬費、専門家経費、クラウド利用費、原材料費、外注加工費、委託費、知的財産権等関連経費</li> </ul> </td> </tr> </table>		設備投資のみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助上限額：500万円</li> <li>補助率：1/2以内(※1、※2、※3)</li> <li>設備投資：必要</li> <li>補助対象経費：機械装置費、技術導入費、運搬費、専門家経費、クラウド利用費</li> </ul>	試作開発等(1次公募のみ)
設備投資のみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助上限額：500万円</li> <li>補助率：1/2以内(※1、※2、※3)</li> <li>設備投資：必要</li> <li>補助対象経費：機械装置費、技術導入費、運搬費、専門家経費、クラウド利用費</li> </ul>				
試作開発等(1次公募のみ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助上限額：500万円</li> <li>補助率：1/2以内(※1、※2、※3)</li> <li>設備投資：可能(必須ではない)</li> <li>補助対象経費：機械装置費、技術導入費、運搬費、専門家経費、クラウド利用費、原材料費、外注加工費、委託費、知的財産権等関連経費</li> </ul>				

※1：生産性向上特別措置法(平成30年法律第25号)に基づき、令和元年7月31日までに固定資産税の特例率をゼロとする措置をした市区町村において、補助事業を実施する事業者が「先端設備等導入計画」の認定を平成30年12月21日の閣議決定後に新たに申請し、認定を受けた場合(変更申請の場合は新規の設備等導入を伴う計画であること)の補助率は2/3以内。

※2：3～5年で、「付加価値額」年率3%及び「経常利益」年率1%に加え、「従業員一人当たりの付加価値額」(＝「労働生産性」)年率3%を向上する中小企業等経営強化法に基づく経営革新計画を、平成30年12月21日の閣議決定後に新たに申請し承認を受けた場合の補助率は2/3以内。

※3：小規模企業者・小規模事業者、常時使用する従業員が20人以下の特定非営利活動法人の補助率：2/3以内。

#### ◆対象要件

認定支援機関の全面バックアップを得た事業を行う中小企業・小規模事業者等であり、下記の要件のいずれかに取り組むものであること。

「中小サービス事業者の生産性向上のためのガイドライン」で示された方法で行う革新的なサービスの創出・サービス提供プロセスの改善であり、3～5年で、「付加価値額」年率3%及び「経常利益」年率1%の向上を達成できる計画であること。または「中小ものづくり高度化法」に基づく特定ものづくり基盤技術を活用した革新的な試作品開発・生産プロセスの改善であり、3～5年で、「付加価値額」年率3%及び「経常利益」年率1%の向上を達成できる計画であること。



## 平成25年～30年度事例編

竹下木材有限会社  
株式会社サンエーセイミツ  
馬淵工業有限会社  
日本海酒造株式会社  
有限会社藤屋  
有限会社布野製菓  
有限会社アーク工業所  
株式会社A-テクニカル  
クライムファクトリー株式会社  
株式会社秦鉄工所  
有限会社日高林産  
株式会社Tint NOKKO  
有限会社石東林業商会  
シュプスタンス合同会社  
有限会社竹内量店  
ヨシワ工業株式会社  
有限会社岡富商店  
有限会社ディプロ



# H25

平成25年度補正  
中小企業・小規模事業者  
ものづくり・商業・  
サービス革新事業

## 竹下木材有限会社

■事業  
新たな製材方法導入と乾燥方法改良により  
高品質内装材の商品開発

■対象類型  
革新的サービス

■導入機械装置  
木材乾燥装置SDM×900SL

ものづくり技術 革新的サービス

3台の木材乾燥機を活用し、  
多品種小ロットの需要に対応  
高品質化、新商品開発を実現

### 中国山地の良質な木材を各地に提供 社寺仏閣や重要文化財にも納入

#### 【経営理念】

中国山地の森林を守り、磨き上げた技術で、顧客のニーズにあった選りすぐりの木材を提供する。

日本有数のマツどころとして豊富な資源量を誇る中国山地。その中国山地と日本海を臨む大田市に拠点を置く竹下木材有限会社は、マツとヒノキをメインに選りすぐりの木材を作り出す製材会社として、関西から中部地方まで各地に名が知れ渡っている。近年は、深刻な松くい虫被害や、戦後植林された針葉樹が伐期を迎えていることなどを背景に、マツに加え、ヒノキやスギを扱う量も増加。一般住宅はもちろん、著名な社寺仏閣や重要文化財住宅などに納入してきた実績を生かし、新乾燥機の導入によりさらなる需要拡大に力を入れている。

同社の強みの一つは、特殊材への対応力。数が少ない大径木や特殊な木も仕入れられるネットワークを持っているため、多様なニーズに対応できる。また、特殊材加工も行える4面プレーナーなどの加工設備に加え、乾燥機も複数台保有しており、木種や用途に応じてスピーディーかつ細やかに対応できる技術力にも秀でている。

### 仕上げの美しさが問われる造作材にも注力 設備導入で、新たな乾燥プログラムを構築

近年受注が増加傾向にあるのが、無垢フローリングなどに使われる造作材。梁や桁などの構造材に加え、7、8年前から加工に力を入れてきたが、実績が評価されて販路も受注数も拡大してきた一方、扱う職人の数が減ってきているのが課題だった。仕上げ材とも言われるだけあって、品質はもちろん、見た目の美しさも問われる造作材。乾燥の温度管理にも一層気をを使う必要がある。そこで、低温・長時間乾燥を行える木材乾燥機の増設と、既存乾燥機との連結で新たな乾燥プログラムを構築。製材過程で出る木くずを活用したバイオマス燃料を主体に、高品質商品を開発することを目指した。

高温乾燥は、素早く乾くメリットがある一方、木本来の色つやが失われるデメリットがあったが、乾燥方法を改良したことで、色つやの良い高品質の商品が完成。リードタイム短縮やコスト削減にもつながった。竹下哲史社長は、「木の大きさや種類によって乾燥スケジュールが違う。今回乾燥機を新たに加え、保有台数



作業の様子



1 導入した木材乾燥装置  
2 乾燥した木材は丁寧に加工される



は3台になり、多品種小ロットの需要に短納期で応えられるようになった」と話す。仕上げ材だけでなく、構造材も加工しやすい体制が整ったため、販路や売り上げも大幅に伸びたという。

### スギの大径木を生かした新商品も開発 アイテム増やして需要の掘り起こし狙う

30センチを超える大きな径のスギを活用した新商品開発にも挑戦している。作業効率が悪く、歩留まりも低い大径木は、敬遠されがちだったが、大きいがゆえに、木材の割れにつながりやすい芯の部分を外して製材することが可能になった。さらに節が出にくいきれいな材料を取ることができるため、仕上げ材に使うのにぴったりともいえる。

全国的に、新築住宅の着工が低迷する中、注目を集めているのがリノベーション。「技術力を一層磨いて仕上げ材のレベルを上げるとともに、提案できるアイテムを増やしたりして需要の掘り起こしを強化したい。県産の丸太をしっかり使って林業に貢献できる会社でありたい」。3代目を担う竹下社長が力強く語った。

#### ■Company Data

### 竹下木材有限会社



竹下木材

代表者名：竹下哲史  
設立年：1965(昭和40)年  
資本金：46,000千円  
従業員数：9名  
主たる業種：木材・木製品製造業  
本社：〒694-0053大田市鳥井町鳥越413-4  
電話：0854-82-0353  
FAX：0854-82-1905  
URL：http://takeshitamokuzai.jp/



# 株式会社サンエーセイミツ

ものづくり技術 革新的サービス

## H25

平成25年度補正  
中小企業・小規模事業者  
ものづくり・商業・  
サービス革新事業

■事業  
小物精密部品加工の国内生産回帰に向けた  
量産体制の確立

■対象類型  
ものづくり技術

■導入機械装置  
タキザワNC旋盤TCC2000GC

NC旋盤導入で自動・省力化促進  
県外メーカーからの受注も拡大

## 少量多品種生産から量産まで対応可能な 精密な部品加工が強み

### 【経営理念】

楽しく、活力と向上心あふれる  
精密な物づくりを目指し  
社会貢献できる企業となる

金属部品の製造を手がける松江市東出雲町の株式会社サンエーセイミツ。三菱マヒンドラ農機の「城下町」で2007(平成19)年に創業した若い企業だが、ものづくり補助事業によってNC旋盤を導入するなど精密な部品加工が評価され、農機以外の県外メーカーからも受注を増やしている。

創業者の田川英夫社長は、有限会社田川精機(安来市)の社長を務めた後、新たな道を求めて独立。田川夫婦と技術者の3人で起業した。少量多品種、量産とも精密な加工を手がけ、社員が20人近くまで成長した。

7、8年前、新たな事業展開を模索する中、中国に進出した日本企業が、現地の人件費上昇、不安定な治安などの理由から、国内回帰するようになった。回帰を図った岡山のメーカーが、国内工場の稼働に合わせて傘のような形の鍛造ベベルギアの加工を打診。田川社長は、自社加工品の自動化促進による省力化も図れることから、むらのない製品が同品質で製造できる専用のNC旋盤を導入するとともに、工程の改善も行った。

## 加工時間の短縮により生産性が向上 幅広い注文を受けれるように

導入により、加工時間が1分で約1個と、従来の手動に比べて2倍の速さで仕上がるようになった。また、工程の改善では、工作機械メーカーと一緒に、加工するギアを固定する装置を試行錯誤しながら考案。自動でギアを装置に取り付けた後、加工が始まるように改良した。これにより、打診された予定数量の1カ月1万5000個という加工を実現した。

5年ほど前には、三次元測定機、形状測定機を導入しており、さらに高精度で、欠損品の少ない加工に努めている。品質保証の3点セット(作業標準書、QCD「品質・コスト・納期」、検査成績書)での対応は、販路開拓にも一役買っており、建設機械メーカーから利幅の大きい部品加工の注文などが舞い込んでいる。また、田川社長は近年、工作機械製造などを手がける家業の田川精機の役員にも就任。両社は製造品が異なることから、営業活動では、それぞれの特徴が生かせる幅広い分野から受注



代表取締役 田川英夫



1 導入したNC旋盤  
2 導入設備ガントリー部  
3 製品サンプル



できるようになった。サンエーセイミツには本社工場以外に、同町内に崎田工場があるが、効率アップを図るために工場の集約を検討している。

## 「企業は人材なり」 弱点克服や、提案制度で モチベーションアップを目指す

「企業は人材なり」がモットーで、従来の旋盤、マシニングの両課を製造課に統合してグループ制を導入した。また、委員会活動によってグループごとに業務改善を推進している。従業員一人ひとりに、測定や加工といった各種作業の評価を数値化した「力量表」を策定しているのも特徴で、各自が弱点克服に向けて取り組んでいる。また、提案制度を設けており、提案1件に200円を出し、採用になれば500円、内容によっては1万円を贈っている。田川社長は「全員が常にモチベーションアップに取り組んでいる。人手不足のときだからこそ、人材を育てなければならない」と強調している。

### ■Company Data

## 株式会社サンエーセイミツ



サンエーセイミツ

代表者名：田川英夫  
設立年：2007(平成19)年  
資本金：9,900千円  
従業員数：15名  
主たる業種：金属製品製造業  
本社：〒699-0102 松江市東出雲町下意東747-1  
電話：0852-61-4045  
FAX：0852-61-4046

# 馬潟工業有限会社

ものづくり技術 革新的サービス

## H25

平成25年度補正  
中小企業・小規模事業者  
ものづくり・商業・  
サービス革新事業

■事業  
難削材の素材切断の高速化

■対象類型  
ものづくり技術

■導入機械装置  
大型帯鋸盤(パルスカットソー)

## 特殊鋼の加工技術をより幅広い分野に応用するため、 新分野へ進出

### 【経営理念】

社是：和を尊重し社業を通じて社会に貢献する

航空機、エネルギー関連の特殊鋼加工を主体に手がける馬潟工業有限会社。日立金属安来工場の協力工場として特殊鋼の機械・鋸切断・旋盤といった加工を手がけているが、2013(平成25)年に松江・安来地区の中小企業7社による航空機関連部品共同受注組織「SUSANOO(スサノオ)」の設立メンバーとして参加し、念願の航空機産業への部品供給を果たした。国産飛行機の製造計画は頓挫したが、高度な技術を生かして受注増を図っている。

1975(昭和50)年、船舶エンジンメーカーの株式会社石橋鉄工所(松江市)から分離独立し、資本金1000万円、従業員22人で創業。当初から日立安来の協力工場として特殊鋼素材の加工を手がけてきた。しかし、リーマンショックを機に、1社だけに頼るのではなく、受注の間口を広げるため、SUSANOOへの参加に向け、2012(平成24)年には航空宇宙産業の品質マネジメント規格「JISQ9100」の認証を取得した。

## 試行錯誤で難削材の特殊鋼を 高い精度で加工可能に

日立安来から航空機関連部品の発注が増え、見本市などで7社が共同展開すると、他のメーカーからも受注するようになった。それに伴い、大型素材での、より高度な加工も求められた。既設の小型帯鋸盤では対応できなくなったため、25年度の補助事業で、難削材の特殊鋼を高い精度で切断する大型帯鋸盤を導入し、発注元の期待に応えた。当時は県内で設置している企業が少なかった。試行錯誤しながら切断する速度、歯の磨耗状況などを見極め、個体差があつて切断が難しい素材を正確に切断することで、高い評価を得た。受注がさらに増えたため、現在は3台を設置している。また、27年度補助事業として、加工要素のデータ化と共有化による難削材の加工技術開発、それとともに品質保証を実現させるため、三次元測定機を導入し、さらに品質を高めた。



代表取締役 松尾和夫

高精度の大型特殊鋼切断機を導入  
難削材の加工に高い評価  
航空機関連部品の受注増



1 25年度補助事業で導入した大型帯鋸盤

2 24年度補助事業で導入した特殊鋼素材製品の付加価値加工機

3 27年度補助事業で導入した三次元測定機



## 若手にはものづくりの喜びを感じてもらい、 意欲関心アップを

高価な特殊鋼素材を扱っていることから、失敗は許されないが、人が操作する作業だけに、ミスを正直に申告すれば、ペナルティーを科さない。また、若手に高いモチベーションで技量を高めてもらうため、以前とは養成課程を逆にし、最初にデジタル加工機の操作を習得させ、ものづくりの喜びを体験させている。その後で、本物の職工となるための「カン」を磨いてもらっている。モノづくりへの関心は意欲の向上につながっている。

社員の幸福度アップを最重点にしている。「従業員は家族、その家族も同様」という社風があり、コロナ禍が収束すれば、BBQなどを計画している。

### ■Company Data

## 馬潟工業有限会社



29年に完成した新工場

代表者名：松尾和夫  
設立年：1975(昭和50)年  
資本金：10,000千円  
従業員数：47名  
主たる業種：普通鋼、特殊鋼の各種加工  
本社：〒690-0025 松江市八幡町786  
電話：0852-37-0106  
FAX：0852-37-0107  
URL：<https://www.makatak.com>

# H26

平成26年度補正  
ものづくり・商業・  
サービス革新補助金

## 日本海酒造株式会社

■事業

海外展開に向けた製造工程の変革  
および設備導入による生産性向上

■対象類型

ものづくり技術

■導入機械装置

小型対応清酒ポトリング設備

ものづくり技術 革新的サービス

製造工程自動化で生産性向上  
海外展開のためのスピード出荷を実現

### 地元消費の低迷から 活路を県外、海外へと求める

創業1888(明治21)年の日本海酒造株式会社。かつては酒造りが盛んだった浜田地域だが、現在市内唯一の造り酒屋。水澄みの里と呼ばれる三隅町に位置し、酒造りに大切な水は三隅川の伏流水を使用、酒米は市内弥栄町の農家と契約栽培している。品質と味にこだわった伝統の技術は国税庁新酒鑑評会(現在は独立行政法人酒類総合研究所主催)で金賞を22回受賞している。

他のアルコール飲料との競合で日本酒市場は1973年頃をピークに減少傾向にあり、県内での販売を中心にしてきた同社も近年は人口減少と共に売り上げが下がってきていた。そこで、関東や関西など県外への販路開拓に続いて20年前からアメリカへの輸出を手掛けてきた。さらにシンガポールをはじめとした東南アジア市場向けの引き合いもあり、「海外需要への対応が事業継続にとって取り組むべき課題のひとつで、今後は極めて重要になる」と藤田真路社長は期待をかける。

しかし、海外への販路開拓には一部で短期納期という課題をクリアしなければならない。オーダーによっては受注から納品するまでの猶予が10日以内。だが、タンクからの瓶詰作業は半手作業なため時間がかかり、短期間で大量出荷は難しかった。そこで、問題を解決するために瓶詰工程の大変革に取り掛かった。

### 瓶詰工程の自動化でスピード化、省力化

貯蔵タンクから瓶詰までの従来の工程は、①酒をフィルタープレス型濾過機で濾過する。②半手で瓶に酒を充填。③手作業でキャップ被せや巻締めをする。

こうした工程では蔵出しから出荷まで7日かかるため、ものづくり補助事業で、自動充填機、自動キャッパーを導入。さらに三隅川の氾濫による水害対策としてこれまで充填作業やキャッパーは2階で行っていたが、機械の導入で瓶詰工程を1階に集めてライン化し、自動化した。これにより7人がかりで充填作業をしていたのが4人でこなせるようになり、作業のスピードも1.5~2倍にアップした。

また、中空糸濾過機を使用することで濾過作業時間も短縮され、その結果、受注して4日後には出荷が可能になった。



代表取締役 藤田真路



1 自動打栓機  
2 純米大吟醸「水澄みの里」  
3 シリーズ純米吟醸「渦」  
4 自動充填機



### コロナ禍でも海外とのつながりは継続

主に日本酒類販売(株)などを通じて、アジアやアメリカへの開拓を模索、藤田社長自身も現地へ出掛け、関係強化を図ってきた。アメリカを皮切りに、中国、台湾、マレーシア、シンガポール、ベトナム、スイス、ニュージーランドなど輸出先は11カ国にまで広がった。海外向けも意識しながら「純米原酒超辛口」や「渦シリーズ」など商品を次々と開発。2017年からフランスで開催されている日本酒コンクール「KURA MASTER」では開催当初から受賞を続けており、19、20年には純米大吟醸「水澄みの里」がプラチナ賞を連続受賞した。

しかし、順調な伸びをみせてきた輸出も新型コロナウイルス発生で飲食業は世界的にダメージを受け、この1年でアルコール類の需要は激減。「それでも輸出先各国からはオーダーがコンスタントに入っており、ありがたい。コロナ禍になんとか耐えるしかない」と藤田社長。「人と人の心をつなぐ酒」(同社 motto)が海外との絆を確かなものにしていく。

### Company Data

#### 日本海酒造株式会社



日本海酒造

代表者名：藤田真路  
設立年：1888(明治21)年  
資本金：22,000千円  
従業員数：7名  
主たる業種：酒類製造業  
本社：〒699-3224 浜田市三隅町湊浦80番地  
電話：0855-32-1221  
FAX：0855-32-0979  
URL：<https://www.kan-nihonkai.com>

# H26

平成26年度補正  
ものづくり・商業・  
サービス革新補助金

## 有限会社藤屋

■事業

邑南町の米生産農家と連携して「瑞穂米」の  
高品質化に取り組み、新たな販路拡大を図る事業

■対象類型

革新的サービス

■導入機械装置

フレコン対応米張込機(特注品)、トーヨー玄米石抜き機(AA-2)  
トーヨーコンタミ対応精米機(DCM-20)、山本シフター(F-301)、金属探知機(ND-840SU)

ものづくり技術 革新的サービス

### 創業33年、「生産者第一」をモットーに 豊かな自然が育てた上質な邑智米を販売

【経営理念】

生産者第一主義

毎日の食卓に欠かせないおコメ。無添加で豊富な栄養素が含まれているだけでなく、和洋中さまざまな料理や食材に合うのが大きな魅力。川本町の老舗米問屋、有限会社藤屋は1988(昭和63)年の創業以来、「生産者第一」をモットーに地元邑智郡の美味しいコメを消費者に届けており、高度精米ラインの導入で大幅な売上増を図っている。

酒類小売業だった店が、コメの販売に力を注ぐようになったのは約20年前。国の米穀登録検査機関の認定を受け、本社がある川本町の生産農家数軒と契約することから始まった。需要があれば、1袋や2袋でも検査を受け、迅速に対応する姿勢や、生育中の稲を見に、何度も田んぼまで足を運ぶ姿などが生産者の信頼につながり、契約農家数は次第に伸びていった。同時に販路も徐々に拡大。地元スーパーだけでなく、学校給食や高齢者施設、食品メーカーなどにも卸すようになった。昼夜の寒暖差と、澄んだ水が創り出す「邑智米」のファンは確実に増えていった。

### 異種米混入対応式の精米機導入などで 作業効率や高品質化が格段に向上

「精米の仕方でおコメの旨味も、質も変わる。精米機のボタン一つ押せば、終わりではないんですよ」と伊藤伸社長。品種や気温などコメの状態に合わせて精米方法を換え、旨味や甘味が最大限引き出されるよう注力するのが、腕の見せ所だ。しかし、どんなに注意を払っても、従来の精米施設では、玄米に混じっている石や着色粒などを完全には取り除くことができず、年に数回はクレームが来るのが課題だった。また同社では、うるち米3種、もち米2種を扱っているが、違う品種が混じらないよう、精米が終わるごとに多くの時間を割いて機械を掃除していた。

食に対する消費者の安全意識が高まる中、納入業者などからも高品質米を求める声が強まっており、金属探知機を持っていないだけで入札から外されるケースも出てきた。そこで、異種米混入対応式の精米機や、玄米石抜き機、金属探知機などを導入した。クレームがなくなった上、機内の清掃時間が大幅に減少。営業に費やす時間が増え、5年間で契約農家数が約3倍の220軒にも上り、売上高は約1.5倍となった。高品質のコメを作り出し、販路にのせるシステムが整ったのだ。



代表取締役 伊藤伸



1 導入した精米ライン設備  
2 同社が販売する「瑞穂米こしひかり」  
3 同社が販売する「きぬむすめ」



高度な精米ラインの導入で  
邑智米の高品質化を実現  
生産業者とタッグを組んで販路拡大へ

### ふるさと納税返礼品で県外ファンも獲得 米や餅の魅力発信に力を注ぐ

同社のコメは、邑智郡3町のふるさと納税返礼品にも採用。以前は、年間100件程度の申し込みしかなかったが、粒が大きく、上質なことから県内外から高い評価を受け、現在は月に1,000件受注することもある。伊藤社長は、「従来から卸している県西部や広島だけでなく、全国の人に食べてもらえるようになり、うれしい」と笑みを浮かべる。一方、生産者との距離を縮めるため、倉庫も増設。現在は、邑南町内に2つ、川本町内に1つの計3カ所を設けている。

コロナ禍で巣ごもり需要が伸び、コメや餅の消費量が増えていることや、周辺で営業する餅屋の高齢化などを背景に、餅の加工場建設も計画中だ。伊藤社長は、「巣ごもり需要でコメや餅の美味しさを再発見した人は少なくないはず。生産者と一緒になって、邑智米、瑞穂米の美味しさを一層広めていきたい」と意欲を見せる。

### Company Data

#### 有限会社藤屋



藤屋

代表者名: 伊藤伸  
設立年: 1988(昭和63)年  
資本金: 15,000千円  
従業員数: 5名  
主たる業種: 飲食品卸売業  
本社: 〒696-0001 邑智郡川本町168-4  
電話: 0855-72-0008  
FAX: 0855-74-2005  
URL: <https://www.rice-fujiya.com/>

# H27

平成27年度補正  
ものづくり・商業・  
サービス新展開  
支援補助金

## 有限会社布野製菓

- 事業  
一品種の米粉を使用した菓子製造ラインの  
効率化と国内外の販路拡大
- 対象類型  
革新的サービス
- 導入機械装置  
半袋型蒸練機 NBK-1、包餡機 火星人 CN020

ものづくり技術 革新的サービス

島根県内の和菓子製造業者で初めて  
「きぬむすめ」米粉100%の商品開発  
新たなファンの獲得を狙う

### ひと手間惜しまぬ製法と、原材料にこだわり 年間50種以上の和菓子を製造

#### 【経営理念】

「和の心」を大切に、誰からも愛され、親しまれる和菓子造りを心掛ける

古くからお茶を楽しむ文化が根付く出雲地方において、欠かせないのが和菓子。1953(昭和28)年に創業した有限会社布野製菓は、原材料と手間ひま惜しまぬ製法にこだわって、大福餅やどら焼き、栗羊羹など年間50種以上もの和菓子を作り続けている。満州から引き揚げてきた初代が、小麦粉で作った煎餅の製造販売や駄菓子販売などで起業。昭和40年代半ばにはいち早く包餡機を導入し、地元スーパーなどへの卸販売も始め、瞬く間に販路を拡大した。新工場移転後は県外出荷も積極的に始め、現在は沖縄から北海道まで全国各地のスーパーに商品が並ぶほか、海を越えたアメリカの店舗でも親しまれている。

幅広く、根強い人気の鍵は、原材料と製法へのこだわり。小麦粉やもち米、小豆などの原材料は国内産を選び、餡は自社のレシピで製餡所にオーダー。ベストセラー商品の一つでもある「どら焼き」は、通常の倍の手間をかけて両面焼きにすることで、ふんわりとした弾力のある生地に仕上げた。やわらかくした餅を、こし餡で丁寧に包んだ「あんころ餅」は特に関東地方にファンが多く、社内随一の売り上げを誇る。

### 島根県産「きぬむすめ」の米粉100%で しっとりもっちりのかしわ餅を製造

新たに挑んだのが、島根県産「きぬむすめ」の米粉100%で作るかしわ餅。従来から国内産、県内産の米粉は原材料に使っていたが、各種銘柄が混じったものだった。島根県が全国に先駆けて奨励品種として生産・普及に取り組んでいる銘柄米「きぬむすめ」は、白くつややかで味も良いことから、市場でも人気品種の一つ。そこで、地元米の消費拡大と知名度アップに貢献しようと、「きぬむすめ」だけを使った和菓子を県内で初めて作ることにした。

松江市内の製粉会社に協力を得て、米粉を納入。ほかの米粉が混じらないよう、専用の蒸練機やミキサーなどを導入した。仕上がったかしわ餅は、「きぬむすめ」の優れた食味や粘り、つややかさなどの特長をそのまま受け継ぎ、しっとりとして柔らかく、もっちりもちの味わいに。想像以上の美味しさに手ごたえを感じて商品化を進め、島根県から使用許可を受けた、県産「きぬむすめ」統一デザインのパッケージで売り出しを始めた。



きぬむすめかしわ餅



1 新たに導入した蒸練機  
2,3 導入した包餡機  
4 人気の栗羊羹と福茶

### 新商品や定番商品の受注も順調 洋菓子とのコラボで若者世代の需要狙う

従来から取引のある県内各地のスーパーに卸したところ、評判は上々。現在のところ、県産「きぬむすめ」を100%使った和菓子は他社になく、一時は、東京・千代田区の「日比谷しほ館」にも商品が並んだほど注目を集めている。好調な売れ行きと評判にも関わらず課題となっているのが、人手不足などで一層の生産量拡大に挑めない点だ。「きぬむすめ」を使ったかしわ餅は、餅に仕上げるまでは3種類の機械を活用して製作できるが、かしわ葉を付けたり、パックに詰めたりする作業はいずれも手作業で手間がかかる。定番商品の受注も順調なため、生産自体は当分、現状を維持しつつ、新たな商品開発を思案中だ。今後は、洋菓子とのコラボなどで若者世代の需要取り込みも狙っている。

#### ■Company Data

### 有限会社布野製菓



布野製菓

代表者名: 布野聡  
創業年: 1953(昭和28)年  
設立年: 1975(昭和50)年  
資本金: 5,000千円  
従業員数: 23名  
主たる業種: 和菓子製造業  
本社: 〒693-0033 出雲市知井宮町810  
工場: 〒693-0033 出雲市知井宮町978-11  
電話: 0853-21-0547  
FAX: 0853-21-0600

# H27

平成27年度補正  
ものづくり・商業・  
サービス新展開  
支援補助金

## 有限会社アーク工業所

- 事業  
食品機械、医薬品分野の受注拡大に向けた  
薄板板金加工体制の強化
- 対象類型  
ものづくり技術
- 導入機械装置  
バリ取り機

ものづくり技術 革新的サービス

新規案件受注にも繋がる  
バリ取り機導入で品質が飛躍的に向上

### 積極的な設備投資で 一貫した生産体制を構築

#### 【経営理念】

「ものづくりから豊かさを創造する」～社員一人ひとりの心・暮らし・才能を豊かにし、社会の問題・課題を解決する技術を身につけ、豊かな世界を創る～

農機部品の溶接業として創業したアーク工業所は、1986(昭和61)年に東出雲町出雲郷から現在地に移転後、シートシャッター製造会社との取引が生まれ、これが飛躍のきっかけとなった。

板金分野に進出し、その後ステンレス加工にも着手。レーザー溶接機の導入によって薄板溶接に特化させるなど設備投資を積極的に行い、CAD/CAMシステムによる設計製造、2次元レーザー加工機での切断、プレスブレーキによる精密板金の曲げ加工、さらに溶接と一貫生産体制を構築した。これにより、取引先が環境設備、工作機械、省人化機械、建設機械など幅広い業種に広がった。さらに飛躍させるには付加価値の高い食品機械、医薬品分野への受注拡大が必要で、そのためにはバリ取り加工の自動機械化による高品質化が不可欠であり、バリ取り機の導入に踏み切った。

### 機械導入により生産効率向上 事業拡大に寄与

バリ取り機によって、加工品の仕上がり精度が飛躍的に向上した。それまでは工具を使い、人の手で切断面の一辺ごとに行っていたが、ばらつきが避けられなかった。バリ取り機は、コンベヤーに載せて通すだけで済み、品質が向上、スピードもアップして作業が大幅に軽減された。発注から納期までのリードタイムが3割短縮化され、コストも削減された。これにより新たに食品や医薬品の包装機械メーカー、工作機械メーカーなどの受注を獲得し、事業を拡大させている。



代表取締役社長 柏井一博



1 導入したバリ取り器  
2 レーザー加工機  
3 プレスブレーキ  
4 溶接の様子

### 強みを伸ばし 若い力で更に成長を

アーク工業所は一点ものや緊急性の高い加工など多品種少量生産が可能で、さらに短期納入という小回りの利く対応が強み。2019(令和元)年にはポータブルスポット溶接機を導入し、大物のスポット溶接にも対応できるようにした。企業間ネットワークを構築しており、塗装処理や各種メッキ、機械加工などを含む生産体制も整えている。柏井一博社長は「従業員の平均年齢は30代前半という若い会社で、人材育成と営業力を強化し、もっともっと成長させたい」と決意を込めた。

#### ■Company Data

### 有限会社アーク工業所



アーク工業所

代表者名：柏井一博  
創業年：1972(昭和47)年  
設立年：1991(平成3)年  
資本金：9,000千円  
従業員数：6名  
主たる業種：生産用機械器具製造業  
本社：〒699-0106 松江市東出雲町春日323-5  
電話：0852-52-4269  
FAX：0852-52-3395  
URL：<https://arc-industry.jp>

# H28

平成28年度補正  
革新的ものづくり・商業・  
サービス開発  
支援補助金

## 株式会社A-テクニカル

- 事業  
コンデンサー製造装置製作の低コスト化、  
生産性向上を図る為に工作機械を導入
- 対象類型  
ものづくり技術
- 導入機械装置  
NCフライス盤YZ-502SG/ATC

ものづくり技術 革新的サービス

高機能工作機械の導入で競争力強化  
内製化進み外注費削減効果も

### 自動省力化機械の部品加工・組立を手掛けて11年 低コスト、短納期で製品の供給をする

#### 【経営理念】

顧客満足度の高い商品を短納期で

省力機械部品の加工・組み立てが主力の株式会社A-テクニカルは「ものづくりの街」の松江市東出雲町で11年前に産声を上げた。一般機械、電機機具メーカーなどに各種の単品加工品を納入しているが、補助事業を活用しコンデンサー製造装置向けの部品加工を行うため、コンピューターで切削加工する高機能NCフライス盤を導入。低コスト、短納期を実現するなど生産性を大きく向上させ、競争力の強化に努めている。

2008(平成20)年のリーマンショックで経済情勢が激変したのに伴い、地元の部品製造メーカーを退職した足立一夫社長が、培った技術を生かそうと2010(平成22)年に起業した。社名の「A」は、足立のAであるとともに、A級の製品を供給するという強い意思を表している。

当時、自動車、家電、通信機器などに、電気の蓄電、放電などをするコンデンサーが幅広く使われるようになり、需要が大きく拡大。取引しているフィルムコンデンサーの大手メーカーなども生産増を図っていた。しかし、足立社長の下には中古のNCフライス盤しかなく、機械の能力不足から、せっかく受注があっても外注しなければならなかった。

### 高機能フライス盤の導入で生産性向上 売上は2~3割増に

このため、企業の生き残り、事業の伸展を懸け、段取り時間の大幅な短縮と加工範囲の飛躍的な拡大が可能な高機能フライス盤の導入に踏み切った。これに併せ、工場も従来の倍以上の広さを持つ現在地に移転した。

導入により、従来は加工する部品ごとに手動で刃物を交換していたが自動交換となり、面削り、穴開けなど複数の加工も1台でできるようになった。それまで外注していた部品加工の試作をしたところ、約25%もの外注費削減効果があった。何よりも、付きっきりだった作業から解放されて別の作業ができるようになり、全体の生産量が増えたことで売上が2~3割アップした。新たに従業員1人の雇用にもつながった。コンデンサーは、自動車のセンサー、パソコンや携帯電話などで小型大容量の需要が高まるなど市場が拡大しており、同社にも岡山の部品メーカーから新規の発注があった。



代表取締役 足立一夫



1 導入した高機能NCフライス盤  
2 製造している各種の部品



### 品質と納期厳守にこだわり 顧客に喜んでもらえるものづくりを

一方、将来を見越してユニット製品作りにも挑戦している。最近ではコンデンサー生産ラインの一部設備を納品しており、今後も組み立て製品を考案していく方針。営業活動は、人的な余裕がなく、既存ユーザーの口コミが頼り。そのためにも、1個からの注文にも応え、品質と納期厳守にこだわることで、信頼を高めていくことにしている。足立社長は「大きく事業を展開するのではなく、こじんまりとまとまり、顧客に喜んでもらえる製品づくりに全力投球したい」と意欲を燃やしている。

#### ■Company Data

### 株式会社A-テクニカル



A-テクニカルの工場

代表者名：足立一夫  
設立年：2010(平成22)年  
資本金：2,000千円  
従業員数：3名  
主たる業種：省力機械部品製造業  
本社：〒699-0101 松江市東出雲町揖屋2793-1  
電話：0852-67-1777  
FAX：0852-67-1771

# H29

平成29年度補正  
ものづくり・商業・  
サービス経営力向上  
支援補助金

## クライムファクトリー株式会社

ものづくり技術 革新的サービス

■事業  
農機具向け中型サイズ金属加工部品の  
高精度化と短納期の実現

■対象類型  
ものづくり技術

■導入機械装置  
オークマ(株)製 立型マシニングセンタ MB56-VB型

### 金属部品のマシニング加工に特化 高精度高品質を追求

#### 【経営者の思い】

「挑戦なくして成長はない。ものづくりの道を探求し続け、日本のものづくりを支え、社会の未来に貢献する」

エンドミルやドリルなどの工具を、高速で回転させながらワーク(作業対象部品)を切削するマシニング加工。クライムファクトリー株式会社は創業以来、金属部品のマシニング加工に特化し、年間数千種もの各種部品製造を手掛けている。農機具向けの部品をメインに、船舶や自動車、航空機などの小型・中型金属部品を加工し、高い技術力は県内外で評価されている。導入した高性能マシニングセンタでも高精度、高品質を追求しており、さらなる売上増を目指している。

マシニングセンタは、複数の刃物を自動交換できる内部機構を持ち、プログラミング制御で様々な加工を1台で行えるのが特徴だが、プログラムや手順には職人の経験や技術力が大きく関わる。高木敏之社長が「仕上がりの品質で機械が占める割合は、3割程度。残りは職人の技術力と作業環境。同じ機械でも、工場や職人によって出来上がりは大きく違う」と語り、「30社の取引先に断られた末に、弊社を知ってコンタクトしてくれてくれた会社もあった。困っている取引先の役に立てる喜びはひとしお」と胸を張る。

### 同時4軸マシニングセンタ導入で 生産性と精度が一層向上

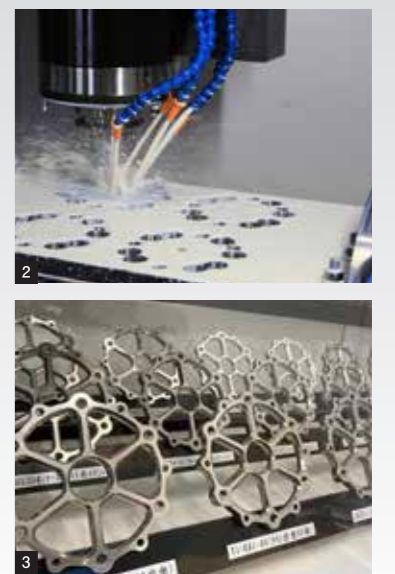
かつては農機具向け部品加工が売り上げの約7割を占めていたが、農機具の大型化が進んだことによって中型サイズの金属加工依頼が増加。そこで従来の機械より作業面が大きな同時4軸立型マシニングセンタを導入、500~600ミリほどの中型部品加工も容易になった。また以前は、加工面が変わるごとに段取り換えが必要だったが、新設備では作業テーブルが移動するため部品を取り付け直す手間がなくなった。そのため加工時間が大幅に短縮でき、部品を取り付ける際の位置決め精度も高くなった。加工できる範囲の部品が広がった上に、一層精度も向上したことで、取引先の数も倍増し、扱う種類も格段に増えた。受注拡大を受け、2020年にはこれまで保有していなかった横型のマシニングセンタも導入。加工物の4面を一気に加工できる上、



代表取締役 高木敏之



1 導入したマシニングセンタ  
2 導入したマシニングセンタで加工している様子  
3 サンプルワーク



さらに大型の部品加工も可能になり、5~1,000ミリ程度までのサイズに対応できるようになった。

### 高難度のワークに挑戦し続け 業界の“駆け込み寺”的存在に

あえてマシニング加工に特化してきたのには理由がある。「手を広げればどうしてもレベルが低い分野も生まれてしまう。絞り込むことで、全国でも戦えるレベルの技術力を追求できていると自負している」と高木社長。機械のパフォーマンスを最大限に発揮させるため、工場の温度は、冬でも22度、夏は26度程度に保ち、常時安定した加工精度を実現している。他社ができないような高難度の部品加工にあえて挑戦し続けることで、職人一人一人のスキルは確実に磨かれている。コロナ禍でも大きな落ち込みはなく、2020年7月には過去最高の売り上げを記録。新工場建設や従業員増加の構想もある。「自分自身が現場に出て、目を配りたいので極端に会社を大きくするつもりはない」と高木社長。「ほかができない技術を磨き上げ、業界の“駆け込み寺”のような存在でありたい」と意欲を見せる。

#### ■Company Data

### クライムファクトリー株式会社



クライムファクトリー

代表者名: 高木敏之  
設立年: 1995(平成7)年  
資本金: 3,000千円  
従業員数: 7名  
主たる業種: 精密金属部品加工業  
本社: 〒699-1113 雲南市加茂町東谷1126-1  
電話: 0854-47-7100  
FAX: 0854-47-7200  
URL: <https://www.climbfactory.co.jp/>

高性能マシニングセンタを生かし  
他社より秀でた技術力で  
難易度の高い部品加工に挑む



# 株式会社秦鉄工所

ものづくり技術 革新的サービス

## H29

平成29年度補正  
ものづくり・商業・  
サービス経営力向上  
支援補助金

■事業  
多面パレット式マシニングセンタ導入に伴う  
無人運転推進と生産プロセス改善

■対象類型  
ものづくり技術

■導入機械装置  
DMG MORI 横型マシニングセンタ NH6300DCGII

14面パレット式マシニングセンタ導入で  
複数品種の並行生産を一度に実現  
無人時の稼働率向上で生産性もアップ

## 産業機械部品から船舶・鉄道部品まで 得意の中型鋳物加工を軸に成長

### 【経営理念】

顧客との信頼関係を大切に、良いものを造り続ける

1969(昭和44)年の創業以来、半世紀にわたって鋳物加工を続けてきた株式会社秦鉄工所。得意とする、200キロから1トンクラスの中型鋳物加工は、近隣に競合他社が比較的少ないこともあって、歴史的に鋳物産業が盛んな島根県内はもちろん、鳥取、広島、岡山にも取引先を抱え、業界ではなくてはならない存在。長年の経験が生み出した技術力に加え、業界でも先駆的に設備投資を重ねることで高品質、高精度な加工を実現し、顧客から厚い信頼を得てきた。工作機械部品、印刷機械部品、船舶部品など幅広い業界の部品加工を手掛けて景気に左右されない安定経営を重ねてきたが、約10年前からは県内の大型鋳造加工会社とタッグを組んで鉄道部品も製作。一層厳しい品質管理と高精度が求められる分野に足を踏み入れたことで、さらに技術力が磨かれ、業界での評価もより高まってきていた。

## 多品種小ロットのニーズの高まりを受け、 多工程を一度にセットできる機械を導入

そんな中、課題になってきていたのが、マシニングセンタのパレット交換に要する時間。多品種小ロットのニーズが高まるとともに、個々の受注の大型化・高精度化・複雑形状化が進み、工程が増加していた。複数品種の生産を並行して行うためには平均10種の加工が必要だが、従来所有していた主力設備「8面パレット式横形マシニングセンタ」では、8種しか行えなかった。そのため、平均週2回、1回3時間程度の時間をパレット組み換えに費やしていた。材料を含めて200キロ以上の重さのある治具を、ボルトを1本1本外して新しいものに取り替え、工具も十数本以上取り換えなければならず、加工には1000分の1ミリ単位の精度が求められるため、治具の取り換え後の確認作業にも時間を要した。

さらに従来の機械では、加工設備に鋳物をセットする際の位置決め作業も、熟練工が経験と勘を頼りに行わざるを得なかった。担当者によってバラツキが生じる上、手入力によるミスも年間数件程度は発生していた。機械の老朽化が原因で、修繕が必要になり、時間や費用に大きなロスが生じていたことにも頭を悩ましていた。



代表取締役専務 秦真司



1,2 導入した14面パレット式マシニングセンタ



3 工場内の様子(出来上がった製品をコンプレッサーで洗浄)

## 生産性が大幅向上し、 高精度、ロス削減も実現 顧客の信頼積み重ね、更なる受注拡大へ

そこで一度に14種の工程をセットできる「14面パレット式横形マシニングセンタ」を導入。従来3時間程度かかっていたパレット交換時間がゼロとなり、大幅に生産性が向上、年間170万円以上のロス削減も実現した。高精度の仕上げ工程を含む最大14種の工程が自動で行えるため、夜間の長時間・無人運転も可能になった。また、高精度センサーシステムを活用し、素材寸法の測定や中心を求める位置決め作業を無人工程にしたことで、手入力によるミスがなくなり、精度も一層高まった。秦真司専務は、「弊社では現在鉄道部品のシェアが売り上げの約3割を占めるようになった。完成した電車は東南アジアを走っており、今後も需要が期待される。鋳物や工作機械の受注も増加傾向にある。顧客の信頼を重ね、一層受注を増やしていきたい」と意欲を見せる。

### ■Company Data

## 株式会社秦鉄工所



秦鉄工所

代表者名：秦邦男  
設立年：1969(昭和44)年  
資本金：12,000千円  
従業員数：18名  
主たる業種：産業機械部品製造業  
本社：〒699-0816 出雲市湖陵町大池1219-2  
電話：0853-43-2489  
FAX：0853-43-2484

# H29

平成29年度補正  
ものづくり・商業・  
サービス経営力向上  
支援補助金

## 有限会社日高林産

- 事業  
木材乾燥機導入による生産性と  
品質向上による木材製品の付加価値の増大
- 対象類型  
ものづくり技術
- 導入機械装置  
全自動電気式木材乾燥機 MTG-200E

ものづくり技術 革新的サービス

県産の間伐材利用による商品開発で  
消費者に新たなライフスタイルを提案  
森林再生と環境保護に取り組む

### 建築用製材から間伐材活かした加工材へ 県産のスギ・ヒノキの小径木を有効活用

#### 【経営理念】

- ◎消費者にライフスタイルを提案できる高付加価値商品づくり
- ◎間伐材の有効利用を進め、森林の再生とエコ商品の提供を行う

木材は、高温多湿の日本の気候に合うことから、古来、建築資材に使用されてきた。その豊富な木材資源を持つ風光明媚な中山間地である邑智郡に、1960(昭和35)年、日高林産は建築製材所として創業した。1993(平成5)年に新工場を建設し、法人化と同時に日高弘毅氏が代表取締役に就任、事業を継承した。2006(平成18)年羽須美工場を開設し、現在は旧工場を含め3つの工場で建築用加工材と特殊加工材、新製品の開発を手掛け、県産木による産業起し、まちづくりに取り組んでいる。

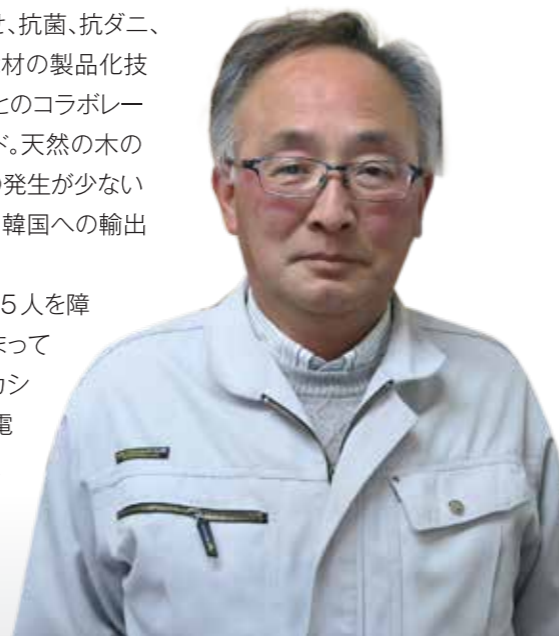
近年は、他社との差別化と製品の付加価値を高めるため、島根県内で生産される間伐材に着目。スギ、ヒノキの小径木を有効活用した商品開発を手掛けている。

間伐材は、木材として加工する途中で曲がりやねじれの「暴れ」と呼ばれる現象が強く見られ、製品化するには高度な技術力が求められる。日高林産は研究を重ね、自社で技術を開発。木の暴れを抑え、乾燥後に独自の接着技術で無垢材を張り合わせ加工し、狂いの少ない製品づくりを実現している。

### 企業コラボで桧すのこベッド誕生 機械導入による品質向上で増産

ヒノキは森林浴と同様、神経をリラックスさせ、抗菌、抗ダニ、防臭の働きも認められ注目を集めている。間伐材の製品化技術と製造ノウハウから生まれたのは、県外企業とのコラボレーションで製品化された島根県産桧すのこベッド。天然の木の香りが心地よい眠りを誘い、通気性がよくカビの発生が少ないと評判を呼び、国内はもとより数年前から台湾、韓国への輸出を行っており、生産量も年々上がっている。

桧すのこの製造は、現在、12人の従業員(内5人を障がい者雇用)で対応している。年々、需要が高まっていることから、補助事業で「下鋸リップソー カシワギ製ギヤングリップパー」と、木の暴れを抑える電気式の木材乾燥機「弱減圧式乾燥装置」を導入した。下鋸リップソーは一度に5枚の板が製材でき、生産性アップと効率化を実現。また弱減圧乾燥装置導入により、小径木の乾燥時における変形が抑えられて品質が向上し、26.6%



代表取締役 日高弘毅



1 導入した全自動電気式木材乾燥機  
2 下鋸マルチリップソー  
3 製品のベッド



増産した。

出雲木材市場と連携する三層パネル、桧積層パネル・ルーバーウッド、E's-WOODの新商品の開発・製造販売も好調だ。

### 売上げの約6割を占める間伐材製品 東京農業大学との連携で新商品開発へ

近年、製材業を取り巻く環境は厳しく、県内の事業者数は年々減少傾向にある。競争も激化しており、建築用資材は価格の下落を招き採算割れを起こす場合も出ている。日高林産も、今まで主力だった製材や壁、床加工材の売上げは減少傾向にある。その半面、家具メーカーからの受注は増加。新たに開発した細すのこタイプのベッドも好調で、間伐材製品が売上げの60%を占めるようになった。

一方で、地域に眠る資源を発掘し、新しい時代のニーズにふさわしい魅力あるまちづくりや地域に合った産業おこし、人的ネットワークを構築することを目指したプロジェクトを東京農業大学と連携して進めている。その一環として、E's-WOODを活用した香木の森ガーデニンググッズを製造。今後、新商品の開発にも余念がない。温暖化による環境問題にも目を向けながら、安全性と強度、機能性の高い加工材や新しい集成商品の開発に取り組んでいる。

#### Company Data

### 有限会社日高林産



日高林産工場

代表者名: 日高弘毅  
創業年: 1960(昭和35)年  
設立年: 1993(平成5)年  
資本金: 3,000千円  
従業員数: 12名  
主たる業種: 木材・木製品加工業  
本社: 〒696-0221 邑智郡邑南町鱒淵1111  
電話: 0855-83-0323  
Fax: 0855-83-0431

# 株式会社Tint NOKKO

☑ものづくり技術 □革新的サービス

## H29

平成29年度補正  
ものづくり・商業・  
サービス経営力向上  
支援補助金

■事業  
全自動裁断システム導入による生産効率の向上と  
多品種・小ロット化への対応強化

■対象類型  
ものづくり技術

■導入機械装置  
一枚切り自動裁断機 ECOPIA E2-2000  
クリアコンボII アパレルアプリケーション

## 豊富に揃えた生地ネット販売と アパレル各社OEMの二軸で成長

豊富に揃えた生地販売と、関西や関東地方のアパレルメーカー各社のOEM生産の二本柱で急速に成長してきた株式会社Tint NOKKO。創業間もない頃は、県内の縫製工場生産・受注管理から営業まで一般的な経験を積んできた山下秀朗社長が、工場各社とアパレルメーカーとの間に立つエージェント的業務を行っていた。しかし、パターンから縫製までオールマイティーにこなせる技術と、長年培ってきた人脈を生かし、各地の工場と提携して裁断や縫製などの事業も展開。さらに、裁断の過程で出た大量の余り布を定寸カットしてネット販売したところ、完売するほど好評だったことから、生地販売も手掛けるようになっていった。

縫製分野の協力工場だった一社を吸収合併したことを機に2018(平成30)年、法人化。協力工場に貸し出していたマシンや各種機械を持ち帰るとともに、働いていた外国人実習生も引き受けて、社内で本格的に縫製事業をスタートさせた。これにより、パターン作成から裁断、縫製、仕上げプレス、また昇華転写プリントまで、社内一貫生産の体制が整った。

## 熟練技術が不要な自動裁断機の導入で 極小ロットや極小パーツの裁断が容易に

同社のOEMのメインはニットカットソー製品だが、ニットには、伸縮性とドレープ性があるため、慎重な裁断が求められる。特にボーダー生地の場合合わせは高い技術が必要で、社内でも行える人材に限られていた上、裁断にも最低3人が必要だった。そこで、熟練が不要で、オペレーター1人でも扱える一枚切り自動裁断機を導入。アパレルメーカーとのデータのやりとりから、裁断工程までシームレスに行える体制を整えた。

また近年ペット用の服など、極小ロット、極小パーツの需要が高まっていたが、通常の裁断より時間がかかり、高い技術が求められるのがネックだった。しかし新機械では、生地柄に合わせてプロジェクターが映し出した型紙を移動させることもできるため、生地を触ることなく微妙な位置調整が可能に。裁断工程が大幅に短くなった上、より正確なカットが可能になり、コスト低減と短納期につながった。



代表取締役 山下秀朗

データ入力から裁断工程までシームレス化  
需要高まる極小ロットやパーツに対応  
生産性向上で更なる展開狙う



1 導入された自動裁断機  
2 極小ロットのペット用衣服にも対応  
3 縫製作業するスタッフら



## 抗ウイルス素材の需要急増にも対応 自社サイト立ち上げでネット販売をより強化

新しい自動裁断機の導入は、縫製事業の生産性と品質向上を実現しただけでなく、生地販売分野にも大きく役立った。同社では、抗ウイルスやUVカットなど機能性素材をメインにした販売戦略が功を奏し、約10年前からネットでの生地販売が好調だった。そこに思わぬ追い風となったのが、新型コロナウイルス感染症拡大による手作りマスク需要の高まりだ。抗ウイルス素材の生地注文がひっきりなしに寄せられ、休日返上で早朝から真夜中まで生地のカット作業に当たった。出荷件数は実に1万件を超える月もあった。「新機械がなかったら対応しきれませんでした」と山下社長。2020(令和2)年2月期は前年度比5倍の売り上げを記録、従業員も大幅に増え、年商は過去最高の2億円を突破した。

新たな積層自動裁断機や延反機も既に導入が決まっているほか、好調なネット販売は、大手モールに加え、自社サイト立ち上げも計画 중이다。山下社長は、「従来断っていた仕事も受けられる体制が整った。小ロット、ボーダー素材の受注拡大、また裁断のみの業務も広く受注し、生地のネット販売の売上も一層伸ばしていきたい」と話し、さらなる事業拡大を狙っている。

### Company Data

## 株式会社Tint NOKKO



Tint NOKKO

代表者名：山下秀朗  
設立年：2018(平成30)年  
資本金：1,000千円  
従業員数：18名  
主たる業種：縫製業、生地販売業  
本社：〒691-0015 出雲市西郷町371  
電話：0853-63-8116  
FAX：0853-63-8125

# 有限会社石東林業商会

ものづくり技術 革新的サービス

## H29

平成29年度補正  
ものづくり・商業・  
サービス経営力向上  
支援補助金

■事業  
木材乾燥工程の製造プロセス改善による  
競争力強化事業

■対象類型  
ものづくり技術

■導入機械装置  
木屑焚き温水循環装置

創業100年の伝統と最新技術を駆使し、  
地松に特化した建築用材を全国に提供

### 【経営理念】

- ◎創業の精神を尊び、健全経営を旨とする
- ◎木材を通じ、地域の社会発展に貢献する
- ◎石東の発展と、従業員の生活向上を期する

面積の約8割を森林が占めている大田市。全国有数の優良な松の産地として知られている。この地で、松に特化した建築用材を全国各地に提供しているのが、有限会社石東林業商会だ。松くい虫の被害で生産量が落ち、全国的にも地松の製材量が減る中、高品質の製材を安定的に供給してきた。特に力を入れているのが、乾燥だ。木材は乾くとねじれる性質があるが、中でも松はねじれの度合いが大きい。同社では、時間をかけた天然乾燥と、温度管理を徹底した人工乾燥を兼ね合わせることで、香りや肌触りなど木の持つ自然の良さを生かしつつ、平均含水率18%以下の品質を実現してきた。

梁(はり)や桁などの構造材に加え、約10年前からはフローリングなどに使われる造作材の製材も手掛けるように。力強い木目が特徴の地松フローリングは、一般住宅はもちろん、文化財指定を受けた伝統的建造物の修繕などでも重宝されている。

## バイオマス燃料を使った窯の新設で 乾燥時間短縮と品質向上を実現

30年以上前に県内でもいち早く乾燥機を導入し、その後は2機を併用してきたものの、老朽化で1機は壊れ、もう1機も近年、窯の消耗で熱効率が悪くなっていた。60度程度に保ちたい温度が、最低50度ほどにまで落ちるのが難点で、乾燥に時間がかかるようになっていた。時には、天然乾燥後に機械での乾燥を待っていた木材の状態が悪くなり、廃棄せざるを得なくなることもあった。

そこで乾燥機に併設される窯を新設。製材工場で排出された木くずや端材などのバイオマス燃料を使うタイプだ。温度を一定に保てるようになったため、乾燥時間が短縮、品質向上も実現することができるようになった。業界では近年、100度以上の高温で、短時間に含水率を極限まで下げる方法が主流になってきているが、同社が行っているのは、中温で約2週間かけて水分量を落とす



代表取締役 松井修吾



1 導入した木屑焚き温水循環装置  
2 木材乾燥機の制御盤  
3 製材所の様子



方法。乾燥時間が1日短縮できるだけでも、製造プロセスが大きく改善することになった。

## マイナスイメージ払しょくし、 マツの魅力を発信 床材フローリングの需要拡大狙う

スギやヒノキなどに比べ、強度があって粘り強く密度が高い地松は、昔から屋根からの重さを支える梁や桁などの構造材として利用されてきた。一方で、ねじれやすく、反りやすい性質を調整しないまま使われたことも少なくなく、松に対するマイナスイメージも浸透してしまった。松井修吾社長は、「エアコンや高気密など現代の建築は、自然の木にとって過酷な環境です。それでも保存や乾燥に手をかけ、確実な技術で管理した松は、高い品質で暮らしを豊かにします」と話す。

壁や天井で隠れてしまいがちな構造材に比べ、松の魅力を日常的に味わえるのがフローリングなどの造作材だ。樹脂成分が多く、月日が経つほどに艶が出て、全体が鮎(あめ)色に変化していく美しさや、素肌で感じる温もりは無垢(むく)松フローリングならではの。今後は、松の魅力を一層発信していくとともに、床材フローリングに力を入れていく予定だ。

### ■Company Data

## 有限会社石東林業商会



丁寧に積み上げた天然乾燥中の木材

代表者名: 松井修吾  
創業年: 1921(大正10)年  
設立年: 1947(昭和22)年  
資本金: 3,300千円  
従業員数: 12名  
主たる業種: 木材製材業  
本社: 〒694-0052 大田市久手町刺鹿2678  
電話: 0854-82-8001  
FAX: 0854-82-8003  
URL: <https://www.sekirin.co.jp/>

木材乾燥工程の製造プロセス改善で  
高品質製材の安定供給体制が強化  
地松の魅力発信し、利用促進を図る

# H29

平成29年度補正  
ものづくり・商業・  
サービス経営力向上  
支援補助金

## シュブスタンス合同会社

■事業

ショックフリーザー等の導入による  
アイスクーキの新商品開発事業

■対象類型

革新的サービス

■導入機械装置

プラストチラーHBC-6TA3、12卓上アイスクリームフリーザー  
アイスクリーム用専用型、ジュースミキサーSTEALTH、アイスクリーム用コーン焼成機

ものづくり技術 革新的サービス

WEBショップ開設も視野に入れる  
夏季の売り上げや繁忙期の生産量向上  
アイスクリームのメニュー追加で

### 上品な味わいと見た目の美しさが魅力 鮮度にこだわったフランス菓子を製造

美しい光沢で輝くガレットや、彩り豊かなマカロン、まるで宝石のような高貴で繊細な表情を見せるチョコレートの数々——。手間を惜まず、丁寧な手作業で生み出されたフランス菓子は、上品な味わいに加えて芸術品のように美しく、見た目にも心を奪われる。出雲市のフランス菓子専門店「パティスリー シュブスタンス」が生み出しているのも、そんな魅力的なスイーツの数々だ。店内には、各種ケーキやタルト、チョコレートのほか、多彩な焼き菓子など数十種類もの菓子が並び、非日常の甘い雰囲気を味わえる。上質なバターをふんだんに使った菓子は、風味が落ちるのも早い。それゆえに、シェフパティシエ古川強さんが最もこだわるのが鮮度だ。一番美味しい状態で味わってもらえるよう、こまめに作り、店には常にフレッシュな商品が並べられている。

### 夏の売り上げ減少に対応すべく アイスクリーム製造関連機械を導入

フランスや東京での修行を経て2008(平成20)年9月、出雲市内でオープン。古川さんのこだわりと、上質な味わいが評判を呼び、県内外から幅広い年代のファンが訪れており、リピーターも多い。しかし経営の大きな課題が、夏場の売り上げ減少だった。気温が上がる夏場は、一般的に菓子の売り上げは落ち込みがちだが、同店でも通常の半分程度まで減少していた。そこで、アイスクリームをラインナップに加えることにし、アイスクリームフリーザーや専用型などを導入。製造・販売には、設備や環境に新たな基準が求められるため、現在の新店舗を設けることになった。

アイスクリームをメニューに加えるもう一つの狙いは、クリスマスなどの繁忙期における売り上げの増加だ。これまで、消費期間が限定されるクリスマスケーキは、生産力を要因に毎年約50件断っていた。しかし、賞味期限のないアイスクーキであれば保存できるため、従来以上に受注することも可能になるといふわけだ。



ショーケースに並ぶ美しい菓子の数々



- 1 導入したアイスクリームフリーザー
- 2 アイスクリームフリーザー稼働の様子
- 3 シーズンには最大10種のアイスクリームが並ぶ
- 4 季節の果物をあしらったケーキ

### 地元フルーツを使ったアイスは評判上々 さらなるラインナップ拡大目指す

新店舗オープンに伴って、製造販売を始めたアイスクリームの評判は上々。イチゴやイチジクなど極力地元のフルーツを使った商品を作っており、夏季には最大10種類味わえる。売り上げも右肩上がり、導入5年後を目標としたアイスの年間売り上げ600万円も達成が視野に入りつつある。プッシュドノエル風のアイスクリームクリスマスケーキや、通年受注で生産するアイスクーキも好調だ。店の名前と味が浸透したのに加え、新アイテムの登場で、店全体の売り上げは移転前に比べ約40%増加した。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で外出を控える人が増える中、アイスクーキなら宅配でも崩れることなく、客の元まで届けることができる。従来になかった新たな需要にも対応できるという予想外の展開も生まれつつある。今後はさらにラインナップを増やし、将来的にはウェブショップやイートインスペースのある新店舗開設の構想も描いているという古川さん。「鮮度や素材にこだわった菓子を美味しく食べてもらいたい」と話す。

#### ■Company Data

### シュブスタンス合同会社



パティスリーシュブスタンス

代表者名: 古川強  
創業年: 2008(平成20)年  
設立年: 2018(平成30)年  
資本金: 2,000千円  
従業員数: 4名  
主たる業種: 洋菓子製造販売業  
店舗: 〒693-0002 出雲市今市町北本町3-3-6  
電話: 0853-31-8388  
FAX: 0853-31-8890

# H29

平成29年度補正  
ものづくり・商業・  
サービス経営力向上  
支援補助金

## 有限会社竹内畳店

■事業  
**最新型框(かまち)縫機・平刺し機導入による  
縁無し・半畳製造の生産性革新と高品質化の実現**

■対象類型  
**革新的サービス**

■導入機械装置  
エア一式両框裁断機付框縫機東海ホープGAT2型框縫機(型式:KF-GAT2)  
全自動反転式平刺機 東海ロボオート6型(型式:HM-6)

### 受け継がれて70余年 高い技術と品質を守る老舗の畳店

#### 【経営理念】

- ◎家族経営の長所を生かし、地域に密着した営業展開をします。
- ◎お客様のライフスタイルに沿ったきめ細かなサービスを提案します。
- ◎日本古来の畳文化を大切にしながら技術向上に努め、品質を落としません。

1948(昭和23)年に創業した竹内畳店は、江戸時代に職人の町として賑わった松江市石橋町の一角に店舗を構えている。作業場が手狭になったことから1978(昭和53)年に北堀町より移転し、現在は2代目竹内昭雄さんを会長に、3代目政治さんが代表取締役役に就任。妻玲子さんと4代目となる息子さんとともに家族で経営に携わっている。

2003(平成15)年には3代目の政治さんが国家資格である畳製作1級技能士を取得。2代目の昭雄さんとともに、2人の1級国家資格取得者のいる畳店として信頼を高めている。さらに、3代目夫婦は「畳ドクター」(全国畳産業振興会)の認定を得て、消費者へ国産畳の良さや価値を伝えていく役割も担っている。

近年は、畳製造のみならず業務の幅を広げ、襖(ふすま)、障子、オーダーカーテン、網戸の張替え、新調など各種リフォーム工事や点検も手がけ、隣接して、畳を生かした暮らしを提案する展示場の開設も進めている。

### 縁あり畳から縁のない半畳サイズまで 新しい機械導入で需要の変化に対応

畳は、同じ大きさに見えて部屋ごとに1mm単位でサイズが異なる。職人が1枚ずつ手縫いをしていた時代には、1日で6帖を製作するのが限度だった。しかし、現在は機械の力を借りて、1日約40帖の製作が可能となっている。

一方で、近年のマイホームは設計が多様化し、和室は「畳コーナー」へと様相を変え、これまでの縁のある畳から琉球畳風の縁のない半畳サイズに需要が移行しているという。

竹内畳店では、新しいスタイルの畳の製造にかかる従来からの作業を止めなければならず、外注に出すこともあった。そこで、これまでの縁あり畳も後世に伝えたい当店では、新旧両方の畳を製造できる高性能機械の導入を決めた。それが「エア一式両框裁断機付框縫機」と「全自動反転式平刺機」である。

これにより生産工程が大幅に短縮され、新旧両方の畳を同時



竹内畳店の皆さん

ものづくり技術 革新的サービス



1 導入したエア一式両框裁断機付框縫機  
2 稼働する全自動反転式平刺機  
3 製造工場の様子



進行で製造できるようになり100%自社製造を可能にした。以前にも増して厳密な寸法がボタンひとつで手早く取れるようになり、裁断や莫葎(ござ)を張る作業は、人員を削減することができた。

### 家族経営の利点生かし受注アップ 住まいのプロフェッショナルを目指す

質の向上と作業の効率化を図った新機種の導入は、それまでの製造量を倍増させ、営業スタイルに変化をもたらした。松江市内を中心としていた受注は、現場作業員が営業や納品に当たることで、安来市、出雲市、雲南市といった近隣の市町までエリアが広がった。加えて、女性や若い世代のスタッフが営業のフォロー、相談に乗るシステムも顧客に親しみやすさや安心感をもたらし、今まで以上に、畳のみならずクロスやカーテンなどの内装工事一般への営業展開が可能になった。

創業70年を超え、2代目が見守り、3代目夫婦を中心にその息子2人が後継者として自社の将来設計を描いている竹内畳店。日本の気候風土によって生まれた伝統文化としての畳に加え、時代に即した新しい畳の製造を軸として、家族経営だからこその細やかな対応と提案のできる「住まいのプロフェッショナル」を目指し、新たな展開が始まっている。

#### ■Company Data

### 有限会社竹内畳店



竹内畳店

代表者名: 竹内政治  
設立年: 1948(昭和23)年  
資本金: 3,000千円  
従業員数: 5名  
主たる業種: 畳製造業  
本社: 〒690-0881 松江市石橋町54-1  
電話: 0852-21-0214  
FAX: 0852-21-0305  
URL: <https://ta-tatami.com/>

新機種導入で受注生産量アップ  
時代に即した畳と伝統ある畳製造の両立図る

# H30

平成30年度補正  
ものづくり・商業・  
サービス生産性向上  
促進補助金

## ヨシワ工業株式会社

■事業

Mgワイヤー法導入による球状黒鉛鑄鉄の  
品質安定化と労働環境の改善

■対象類型

ものづくり技術

■導入機械装置

Mgワイヤー処理装置 WTS4220-11HI-A1

ものづくり技術 革新的サービス

暑熱重筋作業を大幅に軽減  
Mgワイヤー法を使った球状化処理で  
鑄鉄部品の品質向上、コスト減も実現

### 自動車用鑄物部品を幅広く製造 マツダ車の高品質化に貢献

【経営理念】

常に“よりよき明日”に挑戦し、“魅力ある企業”を目指す

1937(昭和12)年の創業以来、広島に本拠地がある自動車メーカー、マツダとタッグを組んで成長してきたヨシワ工業株式会社。機械加工会社との合併を経て、素材から機械加工、組立まで一連の作業を行える鑄鉄鑄物製造会社となり、国産自動車の高品質化、競争力強化に大きく貢献してきた。1981(昭和56)年にマツダから資本参加を受け、1999(平成11)年には品質保証優良認定も取得。本社のある広島県海田町に加え、島根県吉賀町内にも次々と新工場を建設し、マツダの生産拡大に伴う需要に対応してきた。2000年代には、マツダ社内で生産していた製品群を移管し、エンジン以外のほとんどの鑄鉄部品に生産品目を拡大した。現在でも取引先はマツダ関連が圧倒的に高いシェアを誇っている。

国内で製造される鑄鉄製品の約7割は自動車や輸送機械に使用されており、高度な技術力や生産力を要する高付加価値製品として世界的にも高く評価されている。鑄鉄の特徴は、鉄や鋼に比べて多量の炭素を含んでいるため、融点が低く、型に流し込んで成形しやすい点。この鑄鉄にマグネシウム(Mg)を加えると、機械的強度や耐磨耗性、耐熱性にすぐれた球状黒鉛鑄鉄になる。硬さに加え、靱性を得ることができ、鋼に負けないほどの金属特性が生まれるのだ。

### 「Mgワイヤー法」の導入で、 作業環境と品質が大幅に向上

しかし従来の製造方法では、1000度という高温の運搬容器の中に、10キロ以上の球状化剤やカバー材を1時間にそれぞれ7~8回、1日に80回ほど投入する必要があり、作業員の負担が非常に大きかった。また、添加材を投入する場所やタイミングで品質が左右されるため、熟練の技術が求められ、ミスする可能性も否めなかった。異常を即座に判断することが困難な上、作業の記録を残すこともできず、品質保証度が低いことも課題だった。

そこで、粉末のMg合金などの球状化剤を鉄フープでワイヤー状に加工成型し、送線装置で溶湯に添加する「Mgワイヤー法」を導入。充填が自動化されるため、作業員が高温の場所にいる必要もなく、重労働から解放、作業環境が大幅に改善された。さらに充填量を数値で管理できるため、原料を効率的に使え、品質向上とコスト低減を実現。データとして記録が残るため、品質保証度も上がった。



代表取締役社長 吉野正弘



1 導入したMgワイヤー処理装置  
2 稼働するMgワイヤー処理装置  
3 FCDナックル  
4 初見工場



### 品質見極めつつ新製法を拡大 実績生かして新たな市場も狙う

Mgワイヤー法を用いて作った鑄造品の品質が、「従来法と差異がない」と評価されたことから、マツダの自動車部品のうち1部品で承認を受け、2020年末から量産をスタート。吉野正弘社長は、「自動車部品の場合、リコールにつながれば大きな問題。評価の時間をじっくりと取った上で、順次広げていきたい」と話す。現在、Mgワイヤー法を用いて鑄造するのは1部品だが、一部設備の改善や、データ送受信の完全デジタル化などを推し進め、3年以内には全ての鑄鉄部品で実施する計画だ。

鑄鉄自動車部品において高い実績を誇るヨシワ工業株式会社。しかし現状に甘んじる考えはない。吉野社長は、「時代のニーズに合わせ、造り方をイノベーションしたり、付加価値を高めたりするなど、チャレンジし続けたい」と話す。

### ■Company Data

## ヨシワ工業株式会社



ヨシワ工業本社

代表者名: 吉野正弘  
設立年: 1937(昭和12)年  
資本金: 90,000千円  
従業員数: 465名  
主たる業種: 自動車部品製造業  
本社/海田工場:  
〒736-0056 広島県安芸郡海田町明神町1-48  
初見工場: 〒699-5502 鹿足郡吉賀町田野原1036-1  
六日市工場: 〒699-5522 鹿足郡吉賀町七日市647  
電話: 082-823-2171  
FAX: 082-823-2947  
URL: <https://www.yoshiwa.co.jp/>

# H30

平成30年度補正  
ものづくり・商業・  
サービス生産性向上  
促進補助金

## 有限会社岡富商店

■事業  
漁獲量日本一「アナゴ」一夜干しの  
冷凍・保管工程を改善し、品質と生産性向上

■対象類型  
ものづくり技術

■導入機械装置  
第1工場凍結庫設備冷却機器(一体空冷屋外冷凍機コンデンシングユニット/ECO-EN15)  
第2工場凍結庫設備冷却機器(一体空冷屋外冷凍機コンデンシングユニット/ECO-EN98C1)  
第2工場凍結庫設備冷却機器(一体空冷屋外冷凍機コンデンシングユニット/UCR-N15BHA-BKN)

ものづくり技術 革新的サービス

地元産「一日漁」の鮮魚を生かし  
熟練の技術で極上の一夜干しに  
アナゴを主軸にさらなる展開目指す

### 低温熟成でうまみ成分を凝縮 鮮度の良さを生かした一夜干しが人気

【経営理念】

「良い商品は良い原料から」

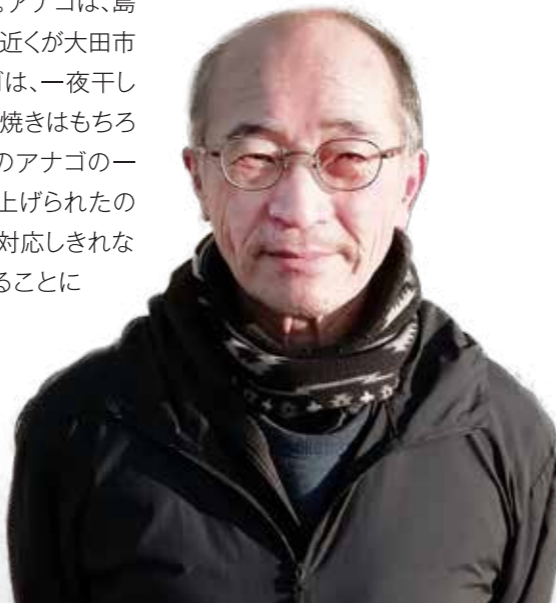
1950(昭和25)年の創業以来、地元島根県産「一日漁」の新鮮な魚にこだわり続けてきた有限会社岡富商店。鮮魚販売に端を発した事業は、消費者のニーズに応じて珍味製造やみりん干し、一夜干しなど幅広い展開を見せ、ギフトやオンライン販売にも注力している。朝出漁して夕方には水揚げされる「一日漁」。当店では、港のすぐ脇にある市場で競り落とした魚を、数分ほどの距離にある工場へ持ち帰って素早く処理するので、鮮度の良さは抜群だ。

近年主力商品となっているのが一夜干しだ。鮮度の良さを生かすためには、迅速に、手早く、なおかつ高品質の商品を作るための熟練の技術が求められる。当店ではまず、さばいた魚を一昼夜、濃度の低い塩水に漬けおく。ゆっくりと低温で熟成させることで、旨(うま)味成分を凝縮させ、ムラのない仕上がりを生み出すのだ。翌朝干すのは数時間。干し過ぎないことで、味わう時にまるで生のようなプリプリ感が生まれる。それに加え、凝縮された旨みは生以上。極上の味わいは、今やネット販売などを通じて全国各地に知れ渡り、そのリピーター率は65~70%に上るといふ。

### 新商品アナゴの一夜干しがヒット 冷却設備を新設し、急増した受注に対応

数年前からは、アナゴの一夜干しも商品化。アナゴは、島根県が全国トップの漁獲量を誇るが、うち半分近くが大田市で獲れている。大ぶりで身の厚い大田アナゴは、一夜干しにしても想像以上の美味しさで、煮付けや塩焼きはもちろん、天ぷらにすると生以上の風味だった。このアナゴの一夜干しが全国放送の民放テレビ番組で取り上げられたのを機に、注文が急増。従来の設備では需要に対応しきれなくなったため、高性能の冷却機器を導入することになった。

以前は、仕入れた魚をその日にすべて処理する必要があったため、水揚げ量が少ない時や時化(しけ)が続くと、安定的に商品を提供することが難しかった。しかし新設備導入によって、冷凍原料でも鮮度や品質を保つことが可能に。また、干した後の魚は急速冷凍した後、真空パック詰めを行っている



代表取締役 岡田明久



1 新たに導入した冷却装置と-30度まで冷やせる冷凍庫  
2 人気のアナゴの一夜干し  
3 加工場の様子

が、冷凍庫の温度がマイナス30度と以前より7、8度も低くなったので、冷凍にかかる時間がほぼ半減。より鮮度が保たれるようになった上、冷凍庫の回転率も上がり、生産性は1.5倍以上になった。

### 個人向けネット需要に一層注力 アナゴ関連の商品開発も進める

生産が追い付かずに断っていたアナゴ一夜干しの注文もすべて受けられるようになったほか、新型コロナウイルス感染拡大の影響で巣ごもり需要が伸び、ノドグロやアマダイ、カレイ、アジなど他の一夜干し製品の売れ行きも好調だ。昔ながらの製法で仕上げるフグやイカの珍味も注目を集め始めている。現在、売り上げの半分以上を贈答用が占めるが、今後は増加傾向にある個人向けネット需要により力を入れる考えだ。岡田明久社長は、「今、大田を挙げてアナゴのブランド化に取り組んでいる。うちも一夜干しに加え、煮物や蒲焼き、缶詰など、アナゴを使った新たな商品を売り出していきたい」と意欲を見せる。商品開発は既に試作にとりかかっており、店頭にも並ぶのも遠くはなさそうだ。

### Company Data

#### 有限会社岡富商店



岡富商店

代表者名: 岡田明久  
創業年: 1950(昭和25)年  
設立年: 1999(平成11)年  
資本金: 3,000千円  
従業員数: 18名  
主たる業種: 水産物加工製造業  
本社: 〒694-0051 大田市久手町波根西1988-3  
電話: 0854-82-8102  
FAX: 0854-82-9113  
URL: <https://okatomi.jp/>



# H30

平成30年度補正  
ものづくり・商業・  
サービス生産性向上  
促進補助金

## 有限会社ディブロ

■事業  
事業規模拡大のための生産性向上と高品質化

■対象類型  
ものづくり技術

■導入機械装置  
自動包装値付機 AW-5600II  
X線異物検査機 KXS 7522AVCLE

ものづくり技術 革新的サービス

自分たちの育てた「石見ポーク」のブランド化を推進  
食の力で地域振興も目指す

### 高品質「石見ポーク」を届けたい ブランド化で販路拡大

#### 【経営理念】

私たちは、お客様の豊かな人生のために食べて健康になる豚肉を販売します。指定農場において餌、水、衛生管理を徹底して育てられた豚肉を最高の品質で、小ロット・1mm単位のスライスなど、お客様のご要望に柔軟に対応します。

豚肉の加工、卸販売を行っている有限会社ディブロは、父親の先代社長服部充雄さんが養豚業を営んでいて、自分の所で育てた高品質の豚の肉「石見ポーク」を広く味わってほしい、と創業した。石見ポークは、ヘルシーさとおいしさを併せ持つケンボロー豚で、衛生管理の行き届いた邑南町内の指定農場で育てられている。

当初は10平方メートルほどの加工場で、指定農場から出荷され、島根県食肉公社で解体された石見ポークを加工し、近隣のスーパー、ホテル、レストランなどに卸していた。少しずつ販路が増え、10年ほど前に約200平方メートルの加工場を新築し、規模を拡大した。

豚肉はかつて、国産か輸入ものくらいの区別しかなかったが、近年はブランド化が進んでいる。そうした中であって石見ポークも、邑南町から島根県内、さらには広島、山口両県などへと販路が拡大し、首都圏を中心に認知度も高まりつつある。だが、それまでの設備では増産と品質維持に限界があるため、自動包装値付機とX線異物検査機の導入に踏み切った。

### 自動化により生産量は1.5倍 品質も向上

自動包装値付機は、注文に応じてスライスした肉をトレーの上に載せると、自動的にパックした上、計量して値札を張ってくれる。手作業では1時間240パックが限界だったが、機械化で360パックと1.5倍に増えた。豚肉には金属が混入していたり、骨が残っていたりする。それまではスライスやパックの際に並行して手作業で検査を行っていた。X線異物検査機は一目で異物の確認ができ、スライスなどの作業はそれに専念できるようになった。両機の導入で人員1人の軽減と2時間の作業時間短縮ができ、品質の向上が図れた。



代表取締役 服部 功



1 導入した自動包装値付機



2 導入したX線異物検査機

3 ブランド化を推進する石見ポーク

### 生産体制強化で 地域と日本の食文化を支えたい

消費者の食の安全に対する関心は年々高まっており、そうした消費者をターゲットに、健康な豚肉・石見ポークの特長のほか、ディブロの最新の生産体制、衛生管理体制をアピールし需要拡大を目指している。導入している自動包装値付機の処理能力は余力がまだまだあり、「コロナ禍で一時的に落ち込んでいる需要が戻り、販売先が拡大していけば、生産体制を現在の3倍にする計画がある。できるだけ早く実現したい」と、服部功社長は意気込む。邑南町は「A級グルメのまち」を標榜しており、石見ポークを広く発信することで、地域と日本の食文化を支えることも目指している。

#### ■Company Data

### 有限会社ディブロ



ディブロ工場

代表者名：服部功  
設立年：2004(平成16)年  
資本金：10,000千円  
従業員数：7名  
主たる業種：食料品製造業  
本社：〒696-0103 邑智郡邑南町矢上4605  
電話：0855-95-1585  
FAX：0855-95-2330  
URL：http://devero.co.jp/

## 平成25年度 採択実施事業者一覧

平成25年度採択時の申請内容で記載しています。

NO	申請者名称	事業計画名	認定支援機関名
1	有限会社板橋木工所	3次元データとモデル加工機導入による木型、樹脂型、発泡型の生産能力向上と高効率化	島根銀行
2	株式会社秦鉄工所	大型縦型NC旋盤導入による鉄道用大物部品加工の試作開発	公益財団法人しまね産業振興財団
3	株式会社日進産業	省エネパネル建材(断熱パネル)の試作・開発	第一経理
4	株式会社MCセキュリティ	高トラフィック対応型セキュリティアルゴリズム開発とセキュリティ機器の試作開発	公益財団法人しまね産業振興財団
5	エステック株式会社	新機能材料開発に寄与する真空プラズマ表面改質装置に関する研究開発	公益財団法人しまね産業振興財団
6	株式会社バイタルリード	バス利便性向上機器の統合化による製品力向上	島根中央信用金庫
7	株式会社ネオナイト	重金属(放射性物質を含む)処理剤の開発および生産効率向上の取り組み	島根県経営者協会
8	モルツウェル株式会社	安心・安全且つ物流リスク回避のための高齢者施設向け食品製造への真空調理法導入	松江商工会議所
9	松江電装株式会社	バックヨーク付きスロットレスDCブラシレスモータの試作開発	商工組合中央金庫
10	竹下木材有限会社	新たな製材方法導入と乾燥方法改良により高品質内装材の商品開発	大田商工会議所
11	サン電子工業株式会社	高性能・高信頼電解コンデンサの開発及び生産	山陰合同銀行
12	富士酒造合資会社	高品質高付加価値清酒の生産と増産に向けた近代的醸造設備の強化	山陰合同銀行
13	有限会社林精工	高精度超精密微小径ワイヤ放電加工機を用いた高精度プレス金型の試作加工体制の構築	公益財団法人しまね産業振興財団
14	有限会社コウダイ	ロボットと制御装置導入によるステンレス部品製造の短納期化と量産化体制の実現	(株)エフアンドエム
15	有限会社松江第一部品	梱包作業の機械化による環境にやさしい古着リユース事業の拡大	しまね信用金庫
16	有限会社出雲グレンダリー	ダクタイル鋳物製品の堰(せき)の研削	島根中央信用金庫
17	王祿酒造有限会社	モノブロックタイプ日本酒ボトル充填設備導入事業	遠藤清二税理士事務所
18	有限会社持田自動車工業	新工場と省力化機械・設備の導入による生産性向上とリユース事業の新規展開	斐川町商工会
19	株式会社フクテコ	金属プレス加工における高精度・高付加価値生産技術の開発	山陰合同銀行
20	株式会社エーエム工業	ケース削り出し加工の試作及び、生産性向上による短納期・低コスト化	公益財団法人しまね産業振興財団
21	ピースデンタルサポート有限会社	高付加価値製品で市場獲得を目指す歯科技工先端システムの導入	景山達税理士事務所
22	大福工業株式会社	中層地盤改良混合処理機械による角柱改良体を造成する先端ビットの開発	島根中央信用金庫
23	株式会社タカハシ包装センター	川上から川下の食品関連業者が共同商品開発を行う「コラボレーション・スクエア」の新設	浜田商工会議所、商工組合中央金庫
24	秦精工株式会社	複合研削による薄物リングの加工精度向上と研削仕上げの工程短縮	安来商工会議所
25	朝田金属工業株式会社	自動車用サイドエアバッグの小型化、その金属プレス部品(ディフューザー)の開発～生産	南都銀行
26	株式会社守谷刃物研究所	人工関節の高品位磨き技術の開発	公益財団法人しまね産業振興財団
27	株式会社サンエーセイミツ	小物精密部品加工の国内生産回帰に向けた量産体制の確立	公益財団法人しまね産業振興財団
28	有限会社ムラタ	超硬精密加工設備の導入による生産性の向上と受注対応力の強化	安来市商工会
29	有限会社丸須鐵工所	高性能自動バリ取り機導入による受注拡大と新規取引先の開拓	斐川町商工会
30	三共鋼機株式会社	1次加工機導入による、ケガキ・孔明け作業高精度化及び生産効率の向上	商工組合中央金庫、出雲商工会議所
31	吉田酒造株式会社	設備導入による高付加価値化新商品開発を行い、更なる県内外への販路拡大	安来市商工会
32	有限会社出雲樹脂	生産工程の改善による短納期化及びローコストでの多品種少量生産の実現	鳥取銀行

NO	申請者名称	事業計画名	認定支援機関名
33	株式会社オネスト	『受注型Web-EDIシステム「e商売®」』の企画・開発・販売	しまね信用金庫
34	内藤鉄工株式会社	塗装素地調整の高品質化及び摩擦接合の高度化における市場特化の確保	島根県経営者協会
35	株式会社ひかわ	抹茶パウダー生産専用機械設備導入による生産性向上から抹茶の海外展開へ	斐川町商工会
36	有限会社コクヨー	加熱処理設備導入による既存事業の量産化および新商品開発による国内外展開	斐川町商工会
37	有限会社協和製作所	新型プレスプレーキ導入により、単価競争・短納期・高品質の建築建材業界の現状に対して生産体制の確立	島根銀行
38	山陰建設工業株式会社	下水汚泥の処理能力向上と高肥料生産プロセスの構築	商工組合中央金庫
39	株式会社小林電機	自動研削加工機を利用した連続用紙裁断用高性度丸刃の試作開発	公益財団法人しまね産業振興財団
40	ヤクモ家具製作所株式会社	多軸制御CNCマシニングセンタの導入によるデザイン性の高い木製椅子の試作開発	山陰合同銀行
41	株式会社員援隊	二枚貝に関するノロウイルス等病原微生物の除去システムの開発	ごうぎんキャピタル
42	米田酒造株式会社	海外市場展開に向けた高品質で生産性が高い特定名称酒の少ロット生産技術の確立	山陰合同銀行
43	ドライクリーニング小笠原	布団のお預かりサービスの開発による、顧客満足度の向上事業	石央商工会
44	馬淵工業有限会社	難削材の素材切断の高速化	公益財団法人しまね産業振興財団
45	有限会社北脇鉄工所	難削材内径ねじ切りと長尺丸物加工のオンリーワン技術を活かし新たな加工に挑戦	斐川町商工会
46	有限会社山本産業	最新の検査装置を駆使した新生産ライン導入による作業の効率化と高付加価値・高品質商品の生産と販路拡大	邑南町商工会
47	株式会社谷口印刷	製造工程の入れ替えとハイブリッド印刷による出版物のシームレス生産及び極短納期対応	商工組合中央金庫
48	有限会社内藤米穀	精米機、フルカラー選別機及び自動計量包装機導入による精米機能の強化	大田商工会議所
49	仁摩電器株式会社	公共事業向けアルミNO. プレート製造ラインの開発	銀の道商工会
50	株式会社協栄ファスナー工業	HONDAフィット向けホースバンドのスポット溶接工程自動化の試作開発	公益財団法人しまね産業振興財団
51	株式会社太陽電機製作所	曲げ加工機導入による太陽光発電用高圧受電装置筐体の製造効率改善事業	松江商工会議所
52	旭日酒造有限会社	高品質かつ効率的な商品詰めラインの導入による、生産性、独自性と競争力の強化	山陰合同銀行
53	株式会社竹田製作所	機械研磨からバフ研磨までの一貫研磨を目指し、短尺量製品の受注体制を確立する。	斐川町商工会
54	石見日東株式会社	車両用エンジン鋳造部品の革新的製造技術の確立による競争力強化	大田商工会議所
55	ステンレス産業株式会社	YAGレーザー溶接機導入による一貫生産体制の強化及び厨房用ステンレスフードの受注拡大	東出雲商工会
56	有限会社松葉屋	包あんロボット等の導入による米粉など地域資源を活用したお菓子の開発及び量産体制の構築	山陰合同銀行
57	有限会社エヌ・アイ	試作開発部品における特殊切削工具の内製化による短納期・低コスト化	公益財団法人しまね産業振興財団
58	株式会社スター精機	自社製品試作開発試験と溶接工程内製化を兼ねたロボットシステムの導入	斐川町商工会
59	有限会社辻木工	高周波フラッシュ接着機導入による生産性向上とデザイン性の高い新商品開発	斐川町商工会
60	協栄金属工業株式会社	大・中型精密深曲げ加工技術による新規製品の試作開発と競争力強化	公益財団法人しまね産業振興財団
61	株式会社スナハラ	包装ライン設備導入に伴う生産能力向上と低コスト化による市場シェア・販路拡大	まつえ南商工会
62	有限会社常松鉄工	単品生産における生産性向上、受注体制の構築	斐川町商工会
63	玉櫻酒造有限会社	仕込み設備の改善による主力商品の品質及び生産性向上	邑南町商工会
64	株式会社シグナル	デジタルデータを活用した生産工程の改善並びに立体造形等の提案	大田商工会議所

他取り下げ等2企業

## 平成26年度 採択実施事業者一覧

平成26年度採択時の申請内容で記載しています。

NO	申請者名称	事業計画名	認定支援機関名
1	株式会社デルタ・シー・アンド・エス	人・マシンインターフェースを考慮した縫製ラインシステムの構築	広島銀行
2	株式会社ロジ・サイエンス	産業用機器、インフラ設備分野での製造能力/効率アップ・高精度化実現で市場の優位性確保	山陰合同銀行
3	株式会社出雲みらいフーズ	複合機能機械の新規導入による、高齢者施設への適温配膳の拡大	出雲商工会議所
4	山陰クボタ水道用材株式会社	安全・安心な天然水提供のためのオゾン水洗浄システムと電解水生成装置の導入	商工組合中央金庫
5	株式会社イズコン	高集水・ノイズレス(消音)・スリム型側溝の事業化に伴う型枠導入	島根銀行
6	有限会社土江本店	漬物技術に応用した発酵熟成二段仕込み魚「奉書干し」の量産体制の確立	公益財団法人しまね産業振興財団、山陰合同銀行、商工組合中央金庫
7	有限会社石川鉄工	特殊自動切断機導入による、プラント向け建築付帯製品生産能力の向上	山陰合同銀行
8	株式会社ヒーロー	録画が停止しない街頭防犯カメラ開発による、独自性と競争力強化	島根中央信用金庫
9	須山木材株式会社	木材短材加工の自動ロボット加工の導入	商工組合中央金庫
10	株式会社大勢シェル	大物中子の一体・中空造型による生産性向上及び低コスト化	公益財団法人しまね産業振興財団
11	協同組合島根県鐵工会	メカニカル・アフター・サポート事業	公益財団法人しまね産業振興財団
12	日本海酒造株式会社	海外展開に向けた製造工程の変革および設備導入による生産性向上	石央商工会
13	日本ベビーグロー株式会社	アパレル用CAD・CAM導入で生産性向上を図り、赤ちゃんにとって最も着心地の良いベビー服を開発する。	東出雲町商工会
14	株式会社ふるかわ	製造能力の向上による「仕出しビジネスモデル」構築事業	山陰合同銀行
15	有限会社中田製作所	自動車産業向け特殊形状コレット・アーバー部品の試作開発	公益財団法人しまね産業振興財団
16	有限会社池工作	自動車部品試作の短納期化、短時間精密測定体制の構築	公益財団法人しまね産業振興財団
17	株式会社三加茂建鋼	プレスブレーキ導入にて特殊ドアの製造工程の改善を計る。	島根中央信用金庫
18	有限会社ラ・ポム	お客様ニーズの分析力強化による提案型販売の展開	島根中央信用金庫
19	有限会社銘板センター山陰	需要増加に伴う樹脂部品加工の生産性向上、高度精密加工導入事業	松江商工会議所
20	有限会社垣崎醤油店	有機JAS認定の新商品開発による販路拡大と生産性の向上	邑南町商工会
21	株式会社タカハシ包装センター	包装資材卸から製造メーカーへの転換(自社開発製品「ペーパーハグ」「あみかざり」の試作開発及び内製化)	商工組合中央金庫、浜田商工会議所
22	株式会社アルチ	環境負荷低減及び作業環境改善のための粉体塗装設備の整備	商工組合中央金庫
23	有限会社高浜印刷	PUR製本機導入による新しい付加価値の印刷物を提供する事業	商工組合中央金庫
24	松江ガス供給株式会社	集合住宅の光熱費節減及び料金一括徴収システム	山陰合同銀行
25	有限会社飯塚豊市商店	つぎたて・新鮮な島根県産米の県外直販強化(大手外食チェーン)のための高品質・高度食品衛生管理生産の実現	平田商工会議所
26	高瀬鉄工	多様なニーズに短期間で対応可能な生産体制の構築及び新製品の試作開発	鳥取銀行
27	株式会社ファデコ	新工法導入による多段複合研削加工プロセスの合理化と高精度化	安来市商工会
28	株式会社キノシタ	布・レザーの自動裁断機導入による作業の効率化と廃棄ロスゼロ化	出雲商工会議所
29	株式会社ベッセル島根	人の感性に訴える製品(見た目/手触り)を製造し、同製品の拡販を図る。	奥出雲町商工会
30	ISKソリューション株式会社	高効率・低コストを実現する「汚染水・汚泥の新しい除染工法」普及促進事業	公益財団法人しまね産業振興財団、山陰合同銀行
31	旭工業有限会社	CNCタレットパンチプレス導入による生産性及び品質の向上による受注体制の構築	斐川町商工会
32	吉田酒造株式会社	生産性向上と高品質化取組みによる県内外への更なる販路拡大。	安来市商工会

NO	申請者名称	事業計画名	認定支援機関名
33	隠岐酒造株式会社	國酒の魅力を保ち、品質向上と高付加価値化を目指す製造工程一新の酒造り事業	隠岐の島町商工会
34	一宮酒造有限会社	スパークリング酒及び日本酒ベースのエスプレッソリキュールの開発	大田商工会議所、商工組合中央金庫
35	株式会社岡田屋本店	製造環境の改善を実施する高度な製造管理体制構築計画	山陰合同銀行
36	株式会社ツチヨシ産業	多相プラズマ発生装置を用いた高耐火度人工珪砂の製造技術の開発	広島商工会議所
37	簸上清酒名会社	生酒専用大型冷凍庫導入し、生酒の大量製造と安定供給実現による販路拡大を目指す事業	奥出雲町商工会、山陰合同銀行
38	米田酒造株式会社	海外ニーズに対応した多バリエーション製造後工程の確立と日本酒の世界展開	山陰合同銀行
39	株式会社ネオナイト	低水温の寒冷地における水処理障害を克服する画期的な水処理剤の量産化	山陰合同銀行
40	有限会社藤屋	邑南町の米生産農家と連携して「瑞穂米」の高品質化に取り組み、新たな販路拡大を図る事業	川本町商工会
41	有限会社大谷鉄工所	高精度画像寸法測定検査による自動車部品の生産体制高度化、受注範囲拡大	山陰合同銀行
42	協栄金属工業株式会社	低コスト金型製作技術の試作開発によるプレス加工の競争力強化	公益財団法人しまね産業振興財団
43	富士酒造合資会社	醱酵等バイオ技術を駆使し、県産果実を使用した高付加価値の清酒、リキュール等の商品開発	山陰合同銀行
44	株式会社コダマサイエンス	床下白蟻防除施工時に於ける商いのイノベーション	商工組合中央金庫
45	株式会社アサヒサーテクノ	機能性と高品位の表面性状とを兼ね備えた厚膜無電解ニッケルめっき技術の開発	公益財団法人しまね産業振興財団
46	有限会社落合建具店	NCルータ導入による生産性の向上と革新的デザインの木製品の開発	島根銀行、公益財団法人しまね産業振興財団
47	株式会社エフイーエーシー	食品表示に関する一斉分析システム並びに微生物迅速計測法の構築	山陰合同銀行
48	和光産業株式会社	顧客のニーズに対応する為の生産性及び品質向上のための生産体制の構築	公益財団法人しまね産業振興財団、山陰合同銀行
49	島根自動機株式会社	ロータリーインデックス装置搭載自動機の短納期、高精度化	公益財団法人しまね産業振興財団
50	大福工業株式会社	島根県産ゼオライトを利用した新規ゼオライト質ポリマーの開発	公益財団法人しまね産業振興財団、島根中央信用金庫
51	KBツツキ株式会社	新紡績技術と最新型ヤーンクリアラー連携による高品質化、製品化率向上の推進	商工組合中央金庫
52	有限会社板橋木工所	試作から鋳造用金型製作へのプロセス開発	島根銀行
53	株式会社シバオ	粘土瓦業界初「高精度湿度管理乾燥装置システム」構築	大田商工会議所
54	さんべ食品工業株式会社	パウチバック入り炭酸ゼリー飲料及び希少糖入りサイダーの開発	大田商工会議所
55	株式会社コダマ	プラント装置の設計・製作・メンテナンス一貫体制による高付加価値化	松江商工会議所
56	株式会社守谷刃物研究所	ワイヤハーネス切断用刃物の高精度化・高品質化に対する試作開発研究	公益財団法人しまね産業振興財団
57	共栄自動車有限会社	「立会い車検」と「巡回整備サービス」による顧客満足の向上と作業効率の改善による生産性の向上	邑南町商工会
58	株式会社コウダイ	試作開発部門における複合加工部品の短納期化と小ロット化の実現	公益財団法人しまね産業振興財団、山陰合同銀行
59	福泉堂	当社独自の練り切り技術を活かした上朝生菓子の新商品開発による全国展開事業	山陰合同銀行
60	有限会社植田精密工業	CNC円筒研削盤の導入により精密研削の受注体制強化	斐川町商工会
61	株式会社出雲たかはし	フリースドライ麺の2ライン体制による機内食・海外向け高付加価値商品の開発	公益財団法人しまね産業振興財団
62	株式会社河内	印刷品質検査装置を活用した品質保証体制構築による競争力の強化	もみじ銀行
63	株式会社オービット	高精度マシニングセンタ導入による精密金属部品加工の高精度・短納期化	池田泉州銀行

他取り下げ等1企業

## 平成27年度 採択実施事業者一覧

平成27年度採択時の申請内容で記載しています。

NO	申請者名称	事業計画名	認定支援機関名
1	有限会社エヌ・アール・シー	作業ライン管理の効率化による生産性の向上と、CS意識の向上による企業力強化	しまね信用金庫
2	有限会社川本印刷所	デジタル印刷機を活用して、高機能・多機能化による受注領域の拡充と事業領域の拡大を図る。	川本町商工会
3	株式会社千茶荘	自動化設備導入による製茶工程の革新	公益財団法人しまね産業振興財団
4	有限会社吉原木工所	組子技術と設計士・空間デザイナーとの関係強化で、質の高い吉原ブランドの確立	石央商工会
5	DENT	最新5軸CAD/CAMシステム導入による完全社内製造化計画	松江商工会議所
6	有限会社森廣テック	3DCADと形鋼切断機の導入による生産性と品質の向上	邑南町商工会
7	有限会社タシロコーポレーション	オリジナル商品販売事業強化の為の設備事業	島根中央信用金庫
8	有限会社太田硝子店	サンドブラストの商品開発と生産体制を確立して販路拡大を図る	松江商工会議所
9	有限会社やさか共同農場	有機味噌の量産体制確立に向けた設備導入により安定的な供給体制の構築	石央商工会
10	有限会社小村産業	最新型高周波フラッシュ接着機導入による新事業展開	山陰合同銀行
11	株式会社渡部製鋼所	鉄道車両部品鋳物の量産立上の短縮化及び品質の安定化	公益財団法人しまね産業振興財団
12	島根ビール株式会社	島根県清酒蔵麹米使用オリジナルどぶろくビール「おろち」の本格販売	山陰合同銀行
13	有限会社布野製菓	一品種の米粉を使用した菓子製造ラインの効率化と国内外の販路拡大	出雲商工会議所、島根中央信用金庫
14	馬淵工業有限会社	加工要素のデータ化と共有化による難削材加工技術開発とその品質保証の実現	公益財団法人しまね産業振興財団
15	青砥酒造株式会社	省力化設備の導入と醸造環境の整備による生産性向上と市場ニーズへの対応	安来市商工会
16	株式会社イズコン	外構工事におけるブロック積壁のプレキャスト化による民間市場への事業拡大	商工組合中央金庫
17	株式会社ロジ・サイエンス	中量生産ラインへ進化し製造能力・効率アップ・高精度化実現で市場の競争力強化	山陰合同銀行
18	津山屋製菓株式会社	チョコレートと和半生菓子を融合した 新商品製造・全国及び海外展開事業	斐川町商工会
19	有限会社江角鉄工所	H形鋼自動両側同時開先取機の導入により 大型案件受注と鉄骨部材の販路拡大	公益財団法人しまね産業振興財団
20	有限会社ココヨー	レトルト殺菌機導入による常温・長期保存可能商品の開発及び全国・海外展開事業	斐川町商工会
21	株式会社コーク	立型複合研削盤でのリング加工技術の開発と競争力強化	公益財団法人しまね産業振興財団、商工組合中央金庫
22	株式会社タカハシ包装センター	包装資材卸から「売り場プロデュース業」への事業展開～顧客満足度の増強と新規顧客開発	浜田商工会議所、商工組合中央金庫
23	有限会社アーク工業所	食品機械、医薬品分野の受注拡大に向けた薄板板金加工体制の強化	東出雲町商工会
24	富士酒造合資会社	社内IT化体制を整備し、生産計画、販売計画の連携した酒造り、営業戦略の再構築	山陰合同銀行
25	有限会社出雲樹脂	高精度樹脂成形技術を活用した視覚障害者向け携帯型凸面点字器の開発	公益財団法人しまね産業振興財団、山陰合同銀行
26	長谷川製パン有限会社	地域伝統文化の「飾り菓子」の製造を継承し、併せて設備投資を行い、総合的な生産性向上を図る	安来市商工会
27	株式会社ナカサ	極薄肉精密鋳造用消失模型の造形技術開発	公益財団法人しまね産業振興財団
28	株式会社報光社	トータルソリューションと高度組版技術を活かした新規印刷需要の創造	山陰合同銀行
29	平野醤油醸造元	生産設備の新規導入による効率化、及び、高付加価値化商品開発ならびに県外・海外展開事業への取り組み。	松江商工会議所、山陰合同銀行
30	株式会社ひろせプロダクト	不良品の自動識別化を行い、高品質化・短納期化の実現、海外展開の構築	安来市商工会
31	有限会社井山屋製菓	販路拡大を目指した生産プロセスの改善と新商品開発の取り組み	出雲商工会
32	株式会社松尾	全国初「冬虫夏草の湯」の提供ができる施設の整備による新規顧客層の開拓	西中国信用金庫

NO	申請者名称	事業計画名	認定支援機関名
33	アケボノ株式会社	自動車向け金型技術を応用した医療向けカテーテル用金型の試作開発	公益財団法人しまね産業振興財団、山陰合同銀行
34	有限会社キタイ	マシニングセンターによる複合的加工ノウハウを用い、金型部品加工へ進出	島根中央信用金庫
35	有限会社横地建設	隠岐の島産だし粉末を使ったティーバッグ型だしパックの製造販売	隠岐の島町商工会
36	株式会社ウッドスタイル	高周波加熱装置による竹平板化のリードタイム短縮とデザイン性の向上	山陰合同銀行

## 平成28年度 採択実施事業者一覧

平成28年度採択時の申請内容で記載しています。

NO	申請者名称	事業計画名	認定支援機関名
1	株式会社ナガタ	水稲育苗用床土製造における設備導入による低コスト化および生産性の向上・販路開拓	出雲商工会議所、山陰合同銀行出雲支店
2	有限会社アイコーソーイング	最新アパレル用CAD/CAM導入による多品種・小ロット短納期対応の強化と新事業立上げ	公益財団法人しまね産業振興財団
3	明和印刷有限会社	お客さまへのサービスの向上をめざします	山陰合同銀行島大前支店
4	企業組合廣和包装	商談機能強化のための試作プロセスの効率化、自社製品強化のための小ロット対応の内製化	商工組合中央金庫松江支店
5	秦精工株式会社	ITを活用した設備稼働管理システムによる生産効率向上とリードタイム削減	公益財団法人しまね産業振興財団、山陰合同銀行安来支店
6	株式会社渡部製鋼所	産業ロボット用鋳物部品の加工精度保証と受注拡大	公益財団法人しまね産業振興財団
7	建鉄工業株式会社	建築鉄骨の穴あけ加工の高速化及び高精度化による納期短縮	公益財団法人しまね産業振興財団、山陰合同銀行益田支店
8	李白酒造有限会社	生産工程の温度をコントロールし、輸出向け吟醸酒の品質向上と拡販を図る	山陰合同銀行北支店
9	池月酒造株式会社	生産設備の導入による生産性の向上と高品質化	邑南町商工会
10	株式会社シーライフ	地元で水揚げされる魚を活かす缶詰産業プロジェクト	公益財団法人しまね産業振興財団
11	有限会社野津木工所	新型緑貼り機、新型スライドソーの導入による生産性向上	雲南市商工会
12	協和地建コンサルタント株式会社	ボアホール式地中熱交換器施工の内製化による付加価値及び利益向上	松江商工会議所
13	有限会社内田工務店	島根県初壁紙糊付巻取り装置導入による「保護フィルム付クロス」販売事業	斐川町商工会
14	オーエム金属工業株式会社	最新鋭機械導入による工程集約と生産効率の改善	まつえ南商工会
15	さいとう歯科医院	歯科用CT導入による根管治療の高精密度とインプラント治療時短化の実現	税理士法人キャスタック
16	株式会社大正屋醤油店	食物アレルギーに対応した「米醤油」の新商品開発と販路拡大	安来市商工会
17	亀谷窯業有限会社	壁瓦、敷瓦の収量効率化計画	公益財団法人しまね産業振興財団
18	有限会社玉木製麺	出雲そば「玄米つなぎそば」の新商品開発から全国及び海外展開事業	商工組合中央金庫松江支店、斐川町商工会
19	株式会社野原熟練工作所	県内製造業の生産性向上、品質向上のための新たな熱処理工程の導入	商工組合中央金庫松江支店、東出雲町商工会、山陰合同銀行揖屋支店
20	有限会社辻木工	設備導入による“外枠付オリジナルモデル”の新商品開発及び全国展開事業	斐川町商工会
21	株式会社松井島根ファクトリー	アパレル国内回帰に向けたデジタル技術導入による量産体制構築	山陰合同銀行福山支店
22	有限会社一福	賞味期限の長い、常温タイプのそばだしの商品開発と販路拡大	商工組合中央金庫松江支店、飯南町商工会
23	株式会社クリアプラス	高速インサータ導入による小ロットDMワンストップサービスの事業化	公益財団法人しまね産業振興財団
24	有限会社ジーンズマツダ	下請け受注型から脱却を目指し、独自スポーツウェアブランドを立ち上げる	飯南町商工会
25	河野乾魚店	品質向上による顧客満足度強化のための低温強力乾燥機導入事業	公益財団法人しまね産業振興財団、日本海信用金庫長浜支店
26	A-テクニカル	コンデンサ製造装置製作の低コスト化、生産性向上を図る為に工作機械を導入	鳥取銀行松江支店
27	PuREC株式会社	臨床グレード超高純度間葉系幹細胞分離システム構築	山陰合同銀行島根医大通支店
28	勝部表装有限会社	自社生産米を活用した商品のラインナップ拡大事業	隠岐の島町商工会

## 平成29年度 採択実施事業者一覧

平成29年度採択時の申請内容で記載しています。

NO	申請者名称	事業計画名	認定支援機関名
1	北陽技建株式会社	3次元データを活用できる技術体制を確立し、i-Constructionへの対応でリードする	島根銀行
2	株式会社DEタカキ	農機具向け中型サイズ金属加工部品の高精度化と短納期の実現	公益財団法人しまね産業振興財団
3	有限会社小村産業	生産力強化による受注ロス解消と古民家リフォーム事業への展開	山陰合同銀行
4	株式会社ロジ・サイエンス	最新画像検査機導入により、「流出不良0件」を目指し、信頼と安心、顧客満足度を上げ受注力強化	山陰合同銀行
5	堀江化工株式会社	板状鉱物の粉碎・水簸処理による高機能素材の製造	公益財団法人しまね産業振興財団
6	株式会社ヨシカワ機械	ロボット産業の次世代を見越した、競争力強化の為の設備投資	吾郷紘一
7	有限会社石川鉄工	ステンレス製高欄の生産体制構築による、新たな収益基盤の獲得	山陰合同銀行
8	株式会社プラテックヤマヨシ	活性化する地域製造業の需要に対応するための高速高性能射出成形機の導入	島根銀行
9	有限会社田中工業	鋼板切断機械の導入により加工能力を向上させ、設備製作から修理までの包括的サービス提供を目指す	雲南市商工会
10	伊藤畳店	最新框縫機導入による生産リードタイム短縮と新量の販路拡大	平田商工会議所
11	有限会社中田製作所	高付加価値の製造装置用主要部品加工へ対応する為の設備投資	山陰合同銀行
12	有限会社桜江町桑茶生産組合	オーガニックを中心とした健康食品の販路拡大と生産プロセス確立	公益財団法人しまね産業振興財団
13	株式会社水利工材	特殊ドリルマシン導入による生産性拡大とニッチ物件対応の強化	大田商工会議所
14	株式会社秦鉄工所	多面バレット式マシニングセンタ導入に伴う無人運転推進と生産プロセス改善	出雲商工会
15	大竹屋	漁師ノウハウと新設備導入による「漁師めし」の新商品開発事業	斐川町商工会
16	有限会社IMS	新たな溶接設備導入により、利益を生み出す溶接工程の構築	斐川町商工会
17	一宮酒造有限会社	海外営業力強化に伴う洗瓶・瓶詰ライン設置による生産性向上事業	大田商工会議所
18	TOP	ドローンを活用した効率的な測量と撮影技術を活かした新規顧客獲得事業	美濃商工会
19	有限会社日高林産	木材乾燥機導入による生産性と品質向上による木材製品の付加価値の増大	邑南町商工会
20	株式会社大勢シェル	下型反転式水平割造型機の開発による量産中子の生産性向上及び低コスト化	公益財団法人しまね産業振興財団
21	玉櫻酒造有限会社	生産設備更新等による生産性と品質の向上ならびに熟成酒の本格生産	邑南町商工会
22	松江山本金属株式会社	工程集約型複合旋盤ロボットシステム導入による生産性向上	公益財団法人しまね産業振興財団
23	株式会社協栄ファスナー工業	サーボプレスを活用した溶接レス工法による自動車等向け高精度板バンド開発	公益財団法人しまね産業振興財団
24	有限会社湖南ラボ	顎口腔系機能障害の治療に有効な歯科技工物への対応力強化	松江商工会議所
25	須山木材株式会社	ロボット型自動羽柄加工機導入による生産向上化	公益財団法人しまね産業振興財団
26	株式会社コダマサイエンス	サービス品質向上に向けたタブレットを活用した営業ツールの開発	商工組合中央金庫
27	浅利観光株式会社	宿泊施設の生産性・サービス品質の向上並びに新たな宿泊形態の提供	公益財団法人しまね産業振興財団
28	出雲カーボン株式会社	調湿木炭を家庭用小物商品として拡販するための異物除去工程の導入	山陰合同銀行
29	株式会社HIRO産業	水処理分野の装置製作を通じ、顧客への一貫サービス提供を目指す。	山陰合同銀行
30	アケボノ株式会社	NCデータ作成システム、CAM-TOOLを利用した鏡面金型の試作・開発	公益財団法人しまね産業振興財団、山陰合同銀行
31	株式会社カガヤキ	島根県初UV印刷機導入によるオリジナル商品開発から販路開拓事業	斐川町商工会
32	山陰名産産間屋生姜糖本舗	両ひねり包装機導入による生産性向上と販路拡大のための基盤整備。	平田商工会議所

NO	申請者名称	事業計画名	認定支援機関名
33	株式会社Tint NOKKO	全自動裁断システム導入による生産効率の向上と多品種・小ロット化への対応強化	平田商工会議所
34	株式会社イーエム工業	立型マシニングセンターを活用した複合多工程品の高度工程集約による試作開発	公益財団法人しまね産業振興財団
35	河野乾魚店	冷凍保存できる食味の良い「のどぐろの肝」の商品化を目指した3D冷凍機導入事業	公益財団法人しまね産業振興財団、日本海信用金庫
36	吉田酒造株式会社	四季醸造体制を構築し高品質清酒製造の追求を行い海外販路拡大を狙う	安来市商工会
37	長谷川製パン有限会社	直営小売店の営業力強化と顧客ニーズにあったパンの多品種生産体制の構築	安来市商工会
38	株式会社三光電子製作所	電線加工の機械化による社員の残業削減と新規顧客の開拓	公益財団法人広島市産業振興センター
39	株式会社酒持田本店	仕込・瓶詰め・貯蔵設備改善による酒造りフローの生産性向上と競争力強化	平田商工会議所
40	菱南電装株式会社	ワイヤハーネスの図面作成自動化による受注機会拡大、および製造の短納期化を実現する事業	Masudaビジネスコンサルタント
41	有限会社石東林業商会	木材乾燥工程の製造プロセス改善による競争力強化事業	大田商工会議所
42	株式会社ハードリーフクリエイティブ	手づくり冷凍ピザの製造プロセス改善による安全面と生産性の向上	大田商工会議所
43	有限会社井上醤油店	新商品開発、販路拡大のための、衛生環境整備、生産ライン自動化の取組み	奥出雲町商工会
44	高田精機	小規模の強みを生かし、拡大を続ける電子部品市場にシフトした加工体制を構築	島根銀行
45	オーエム金属工業株式会社	鋳物生産プロセスへの最新鋭自動化設備導入による生産効率の改善	まつえ南商工会
46	トップ金属工業株式会社	非接触式計測機器を用いた金型製造技術向上化事業	公益財団法人しまね産業振興財団
47	株式会社アサヒサーテクノ	無電解ニッケルりんめっきにおける品質保証体制の強化	公益財団法人しまね産業振興財団
48	有限会社植田精密工業	新設備導入で検査工程を一新し、取引先の大型製品や短納期のニーズに応える	斐川町商工会
49	ヤマノ株式会社	窒素・タンパク質分析装置導入による品質保証及び高付加価値製品の開発体制強化	公益財団法人しまね産業振興財団
50	有限会社垣崎醤油店	少量個包装タイプ調味料の新商品開発と生産性向上への取組み	邑南町商工会
51	ヒラタ工業株式会社	上下ストローク付きハンガーショットブラスト導入による外観品質向上と生産効率改善	公益財団法人しまね産業振興財団
52	有限会社カネヤ商店	生産設備導入による生産性向上、新商品開発による、小売部門への新たな展開	まつえ北商工会
53	シュブスタンス合同会社	ショックフリーザー等の導入によるアイスクーキの新商品開発事業	斐川町商工会
54	株式会社大谷屋たたみ店	高度化した精度の高い量の短期間での製造実現を図り、販路拡大・直販部門強化を図る	安来市商工会
55	株式会社大惣	独自のブリックス度調整技術で、フローズンしても美味しい「おはぎ」の増産体制の実現。	アイクス税理士法人
56	出雲造機株式会社	射出成型機用スクリューの仕上研磨工程における革新的な生産プロセスの改善	公益財団法人しまね産業振興財団
57	株式会社島根久保田鉄工所	自動検査機による自動車足回り部品の生産性及び品質保証力向上	公益財団法人しまね産業振興財団
58	有限会社竹内量店	最新型縫製機・平刺し機導入による縁無し・半量量製造の生産性革新と高品質化の実現	公益財団法人しまね産業振興財団
59	有限会社來間鉄工所	高速型パーツフィーダの水平加振方式を支える複雑形状、高精度な基幹部品の加工方法確立	公益財団法人しまね産業振興財団
60	旭日酒造有限会社	作業効率化と新商品開発等による競争力強化事業	出雲商工会議所
61	有限会社中村茶舗	アジア向けブランド力強化のための工程革新と抹茶体験プログラム開発	松江商工会議所

他取り下げ等 1 企業

## 平成30年度 採択実施事業者一覧

平成30年度採択時の申請内容で記載しています。

NO	申請者名称	事業計画名	認定支援機関名
1	秦精工株式会社	コアピン製造における生産プロセスの改善と医療機器分野への参入挑戦	公益財団法人しまね産業振興財団
2	五共木材株式会社	ニッチ事業領域拡大対応型設備の導入による生産能力増大と付加価値の増大	益田商工会議所、山陰合同銀行
3	株式会社巧匠	車載向け小型精密モーター製造装置(巻線機)の巻線技術を支える線処理部品の加工方法開発	公益財団法人しまね産業振興財団
4	竹下木材有限会社	国産無垢材による造作材の商品開発事業	大田商工会議所
5	加茂福酒造株式会社	生産性と品質向上により弊社の蔵でないと製造できない商品開発を目指す	邑南町商工会
6	有限会社別所蒲鉾店	ボールカッター導入による高精度・低コスト・短納期の実現	商工組合中央金庫
7	福本歯科医院	難治性歯髄疾患の再発減速スキームの汎用化による県全体の治療技術高度化への貢献	島根銀行
8	有限会社常松鉄工	横型NCフライス盤導入による生産性向上への取組み	斐川町商工会
9	有限会社日高林産	下鋸マルチリップソー導入による製材工程の生産性向上と受注拡大	邑南町商工会
10	白石デンタルラボ	効率的に高強度なモノリシックジルコニアクラウンを審美的に開発	松江商工会議所
11	株式会社コーワ	縫製会社の裁断加工体制の構築による国内回帰が進む縫製・裁断需要獲得計画	鳥取銀行
12	有限会社銘板センター山陰	樹脂銘板製造部門の高度化による多言語表記・曲面彫刻対応事業	松江商工会議所
13	有限会社桜江町桑茶生産組合	健康茶市場の拡大に対応する桑茶の生産性向上と自社ブランド確立のための体制構築	山陰合同銀行
14	株式会社和田珍味	のどぐろの自動計測・重量別振分けの実現による生産能力の増強計画	山陰合同銀行
15	株式会社キグチテクニクス	航空機海外主要メーカーとの直接取引実現に向けた製造現場のIT化事業	公益財団法人しまね産業振興財団
16	須山木材株式会社	生産現場と各拠点を結ぶIoT技術導入による生産性向上	公益財団法人しまね産業振興財団
17	ヨシワ工業株式会社	Mgワイヤー法導入による球状黒鉛鋳鉄の品質安定化と労働環境の改善	公益財団法人しまね産業振興財団
18	有限会社出雲グレンダリー	大型重量製品の研削工程見直しによる生産性向上・新規受注獲得と作業環境改善	公益財団法人しまね産業振興財団
19	有限会社装巧舎	高機能インクジェットプリンタ導入による高付加価値製品の提供	公益財団法人しまね産業振興財団 日本海信用金庫
20	有限会社須田工作所	新たな設備導入により失注の解消並びに作業効率の向上による受注体制の強化	斐川町商工会
21	株式会社大屋ハイテック	地域要望への対応と生産性向上を実現する最新機器導入による測量体制の確立	邑南町商工会
22	有限会社花房钣金	電源機と画像寸法測定器の導入による工程の精度及び生産性の向上	フドウシンク 米倉博彦
23	くるみ歯科医院	医療機関連携による最先端医療の提供	坂林公認会計士事務所 坂林弘文
24	有限会社玉木製麺	新文吉うどんの新商品開発による新店舗進出及び全国展開事業	斐川町商工会
25	有限会社勝部商店	「漁獲量全国第1位」島根県大田市産のアナゴを活用した新商品開発	大田商工会議所、島根中央信用金庫
26	株式会社シバオ	「石州瓦」焼成工程における変形防止技術開発による不良率の低減	大田商工会議所
27	株式会社誠和商会	鋼材の曲線線先加工可能な最新設備導入で鋼材一貫生産体制を確立し販路を拡張	広島総合税理士法人
28	株式会社魚徳	売上拡大のためのHACCPへの取組みの高度化と品質管理の向上	浜田商工会議所、島根益田信用組合
29	菱南電装株式会社	ミッションスイッチ工程のロボット設備導入による生産性向上	出雲商工会議所
30	西日本スタイル有限会社	最新型高性能設備の導入による家庭用ヘルスケア製品および医療分野への事業展開	大田商工会議所
31	有限会社木次印刷	「大切な思い出をカタチに」をコンセプトにした小ロット印刷への取組み	雲南市商工会
32	株式会社なつかしの森	アイスの生産・保管設備導入による高品質化とOEM製品の販路拡大事業	飯南町商工会

NO	申請者名称	事業計画名	認定支援機関名
33	株式会社丸八ポンプ製作所	3Dスキャナ導入による品質体制強化と生産性向上	公益財団法人しまね産業振興財団
34	UCワークス株式会社	断熱建築部材の生産性向上・開発の為、カッティングマシン導入による生産・開発プロセスの構築	三菱UFJ銀行
35	松栄設備株式会社	フレア配管システムを用いた、革新的な配管工事工法の導入	島根銀行
36	今太木材株式会社	ほんざね加工対応「かな設備」導入による新商品開発及び生産効率向上を図る経営再建計画	安来商工会議所
37	イマジン.珈琲店	生産力向上と品質安定のための最新式焙煎機の導入と焙煎データ管理	松江商工会議所
38	有限会社創修	高付加価値商品の開発とノベルティ事業参入による売上の増大	川本町商工会
39	株式会社サン・セロ	ボトルネックであった材料シート断裁工程の自動化による大幅な生産性向上計画	Gサポート
40	日本料理じょう一	加圧蒸気焼成機導入による地元素材のご当地スイーツギフトの開発	益田商工会議所
41	有限会社みなと水産	急速冷凍による、のどぐろ等の地魚の高付加価値の製品開発と大都市への販売促進	近重勉税理士事務所 近藤勉
42	株式会社ファデコ	5軸自動旋盤導入による精密切削加工技術の確立と短納期対応力の向上	公益財団法人しまね産業振興財団
43	島根県西部地区資源化事業協同組合	ペットボトルリサイクル品質向上事業	公益財団法人しまね産業振興財団
44	有限会社岡富商店	漁獲量日本一「あなご」一夜干しの冷凍・保管工程を改善し、品質と生産性向上	大田商工会議所、島根中央信用金庫
45	有限会社福田鉄工所	新型プレスブレーキ機導入による高精度部品の加工方法確立と生産性の向上	公益財団法人しまね産業振興財団
46	有限会社ディプロ	事業規模拡大のための生産性向上と高品質化	邑南町商工会
47	有限会社大建テック	測量工数を大幅に削減する3Dレーザースキャナーによる三次元測量サービスの提供	後藤勇公認会計士事務所
48	旭日酒造有限会社	米の魅力を最大限活かした新たな酒造り実現の為の洗米機導入	出雲商工会議所
49	有限会社みずほ食品	生産設備の導入による生産性の向上と販路開拓	邑南町商工会
50	松江山本金属株式会社	小型同時5軸加工機導入による小型シュラウド一体型インペラー難加工の取組みと技術蓄積	公益財団法人しまね産業振興財団

## しまねのものづくり補助事業 成果事例集

〈平成25年度補正〉中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業  
 〈平成26年度補正〉ものづくり・商業・サービス革新補助金  
 〈平成27年度補正〉ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金  
 〈平成28年度補正〉革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金  
 〈平成29年度補正〉ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金  
 〈平成30年度補正〉ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金

■発行

### 島根県中小企業団体中央会

〒690-0886 島根県松江市母衣町 55-4 島根県商工会館4F  
 TEL0852-21-4809 FAX0852-26-5686  
<https://www.crosstalk.or.jp/>

本事例集は、「ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援事業(フォローアップ事業)」及び「令和元年度補正ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」により作成しています。